

建築用鋼製下地材
[2026年7月版]

無溶接工法

部材カタログ

S. NYU
株式会社 サンユー

◎なぜ「無溶接工法」を推奨するのか

作業所での生産性を向上させコストを下げる事は最大の課題です。

この中で現場での労働災害は最大のコストアップ・信用失墜につながるものです。

また、近年地震や台風など自然災害による被害で、より安定した強度・品質の要望が高まってきました。

「無溶接工法」は、こうした現場のニーズに応える為、弊社の豊富な施工実績からノウハウを結集して生まれ「無溶接工法部材カサガ」としてお客様に推奨させて頂いて居ります。

◎無溶接工法のメリット

1. 労働災害の防止
感電・火災事故、じん肺・視力障害などの要因を取り除きます。
2. 作業効率の向上
ガラス・タイル・建具等の仕上りに対する養生作業や、キャブ・タイヤケーブル・溶接機等の移動作業及び錆び止め作業が無くなります。
3. リニューアル、変更工事に対応
無溶接なので変更時の手直しが容易に出来ます。
4. 作業環境の改善
溶接しない為、溶接ガス・火花を発生させません。
5. 安定した品質の確保
リジナル部材を使用するので、溶接による強度や精度のバラツキがありません。（強度試験実施済み）
6. 施工を美しく見せます。

取扱注意事項

取扱事故防止のため下記事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

1. 搬入時、鋼製下地材は滑りやすいので、資材の落下やずり落ちが起きぬよう事前の対策を充分に
たて、ケガや腰痛の防止を行なってください。（現場での小運搬は無理のないようご注意ください。）
2. 鋼材の切り口は鋭利であり、また切断時にはバリも生じ易いので手を傷つけないようにしてください。
（皮革製の保護手袋を着用してください。）
3. 素手による取扱い、または素肌の露出部はケガをするおそれがありますのでご注意ください。
（素肌はなるべくさけるような服装にしてください。）
4. 梱包用スチールバンドおよび針金等の切断時の跳ねあがり等によるケガが生じますのでご注意ください。
（梱包をとく場合は状況判断して作業してください。）
5. 搬入時や保管時について次のような事項にご注意してください。
 - ①原則として屋内の湿気をよばない場所に保管してください。
（やむを得ず屋外に置く場合には防水シート等をかけてください。）
 - ②製品は、地面に直接置かないで平らなところにかい木をして水平に置き、積み重ねる場合は間木を
施して荷崩れを起こさないように置いてください。
 - ③クレーン荷揚げ等の運搬に際しては、布製平型吊りバンドを使用するなど製品の角や表面の損傷に注意
してください。また、製品の上に重い物を乗せないでください。
6. 附属金物について次のような事項にご注意してください。
 - ①取り付け、取扱いについては個別のカサガ、施工要領書を厳守してください。
（誤ったご使用は、事故の発生や製品強度を極端に低下させる恐れがあります。）
 - ②取り付けや固定に使用するねじ類に、種類・長さ等の指定がある場合は必ず指定通りのねじをご使用
ください。また、ねじの止め方や本数についても仕様を厳守してください。（指定以外のねじを
使用した場合及び仕様以外の止め方をした場合、表示してある強度の保証は出来ません。）
 - ③カサガに表記されている強度数値はすべてリジナル金具を使用して試験したものです。他社製品との
併用には適用されませんのでご注意ください。

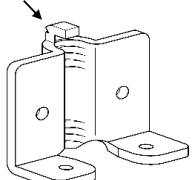
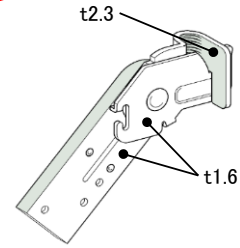
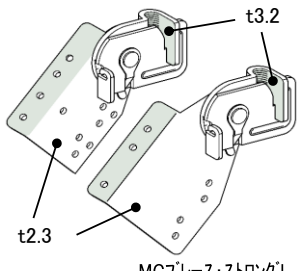
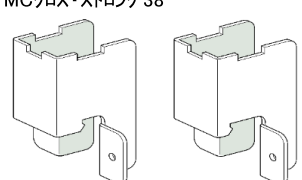
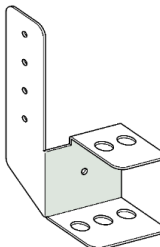
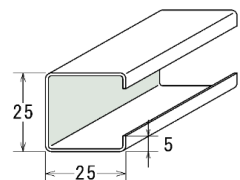
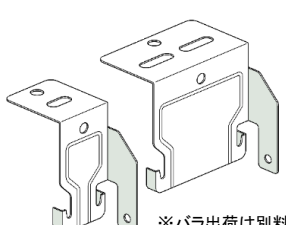
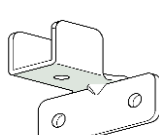
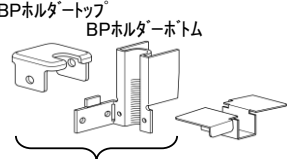
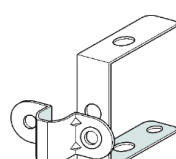
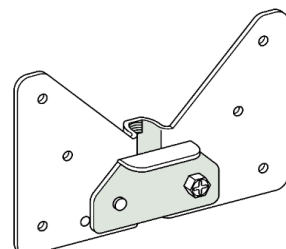
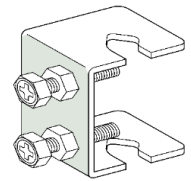
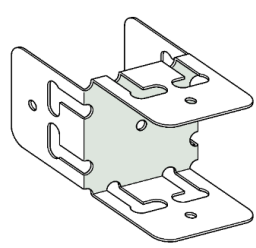
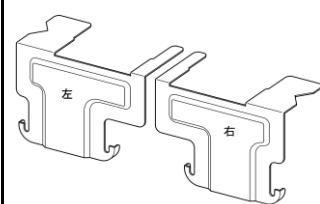
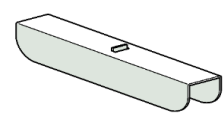
I N D E X

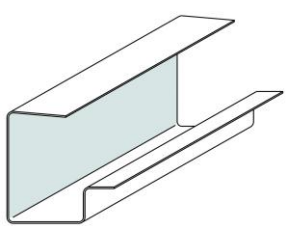
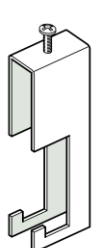
無溶接金具一覧表	1 ~ 2
Ceiling 天井 金具使用例	3 ~ 4
耐震吊元金具 <i>New</i> LG吊元ストロング	5 ~ 6
ブレース補強 <i>New</i> MCブレースⅡ	7 ~ 8
MCブレース・ストロング	9
ブレース補強設置要領	10
MCクロス・ストロング 38・40	11
MCクロス	12
ブレース補強材	ブレースバー 13
耐震・耐風圧クリップ	MCクリップ 0.6・0.8 14
クリップ 補強	MCクリップ ガード 15
吊りボルト座屈防止	BPボルト 16
吊りボルト水平補強	チャンネルフリークリップ 17
	MC吊元ロック 18
	チャンネルボルト (両ねじ用) 19
下がり壁	MC38クロスロック 20
	MCコーナークリップ 右・左 21
	角パイプジョイント 22
照明開口補強	MC-125R 23
野縁受け端部固定	ランナー野縁 24 ~ 25
その他	CクロスA 26
Wall 壁 金具使用例	27
先行ヒース取付	ハリシタヒースロック 20・40・60 28 ~ 29
	ハリシタヒースロックZ 20・40・60 30 ~ 31
<i>New</i> ハネタシサポート 65・75・100	32 ~ 35
	先行ヒース取付金物 65・75 36
ハリシタヒースロックの締付回転数・相当締付トルクおよび強度	37
振れ止め固定	MWジョイント 19・25 38
	MWエンドロック38 39
ドア開口補強	MWクリップ スペーサ65 40
	アングルヒース 41
その他	スペーサーぱっちゃん 42
<i>New</i> 遮煙用アングルヒース	43
推奨ねじ一覧表	44

天井下地材

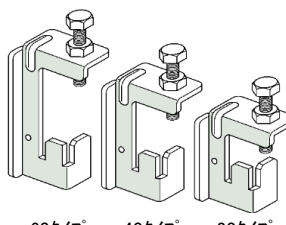
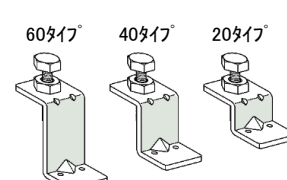
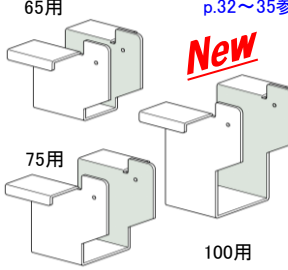
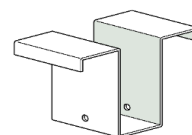
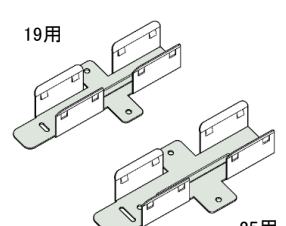
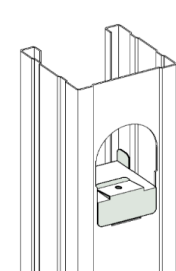
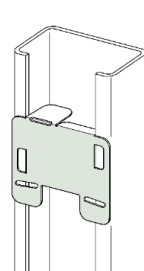
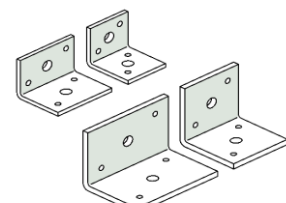
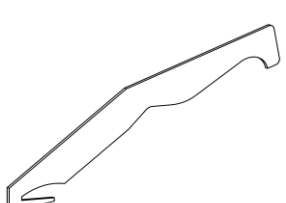
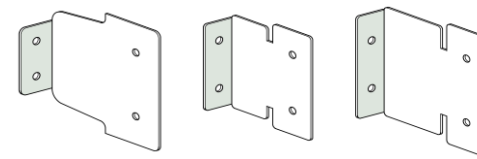
壁下地材

Ceiling

【LG吊元ストロング】	【MCプレスⅡ】	【MCプレス・ストロング】	【MCクロス・ストロング】
●吊りボルトの吊元金具 p.5～6参照 New ストップバー  t3.2mm 200個入/13.8kg(確認キャップ付き)	●プレス材の上部取付金具 p.7～8参照 New  t2.3 t1.6 t1.6mm(固定片t2.3mm) 120個入/11.9kg	●プレス材の上部取付金具 p.9参照 MCプレス・ストロング  t3.2 t2.3 MC7プレス・ストロングL t2.3mm(固定片t3.2mm) 80個入/17.9kg(Lは60個入/16.7kg)	●プレス材の下部取付金具 p.11参照 MCクロス・ストロング38  MCクロス・ストロング40 t2.3mm 各100個入/13.8kg
【MCクロス】	【プレスバー】	【MCクリップ】	【MCクリップガード】
●プレス材の下部取付金具 p.12参照  t1.2mm 150個入/8.3kg	●プレス補強材・吊りボルト座屈防止 p.13参照 ※一時 製造、販売を中止しております  25 25 5 t1.0mm 定尺 2m 10本梱包/12.1kg	●耐震・耐風圧クリップ p.14参照  ※バラ出荷は別料金 MCSC 1,000個入 (ねじ 2,000本付) t0.6mm/14.5kg t0.8mm/18.6kg MCWC 500個入 (ねじ 1,000本付) t0.6mm/12.8kg t0.8mm/15.8kg	●クリップの補強 p.15参照  t1.6mm 500個入/8.7kg
【BPホルダー】	【チャンネルフリークリップ】	【MC吊元ロック】	【チャンネルホルダー】両ねじ用
●吊りボルトの座屈防止 p.16参照 ※一時 製造、販売を中止しております BPホルダー・トップ BPホルダー・ボトム  セット販売 BPホルダー・スペーサー (別売り) t1.6mm 200個セット/11.3kg t0.8mm 200個入/2.4kg(スペーサー)	●吊りボルトの水平補強 p.17参照  t0.8mm 100個入/1.5kg(ねじ 200本付)	●吊元・水平補強用金具 p.18参照  t1.6mm 200個入/19.2kg	●両ねじボルトの水平補強 p.19参照  ※受注生産品 t2.3mm 300個入/21.3kg
【MC38クロスロック】	【MCコーナークリップ】	【角パイプジョイント】	【MC-125R】
●野縁受けの垂直・平面固定 p.20参照  t0.8mm 150個入/4.7kg	●下がり壁用クリップ p.21参照  左 右 t0.6mm 各500個入/7.7kg	●角パイプ(19×19)の連結 p.22参照  t0.8mm 500個入/13.5kg	●照明開口補強材(W400以下) p.23参照  t1.2mm 10本梱包/3.4kg

【ランナー野縁】	【クロスA】
●野縁受け端部固定 p.24～25参照  ※受注生産品 t0.8mm、t1.6mm	●野縁受けの直交固定 p.26参照  t1.6mm 150個入/8.0kg

Wall

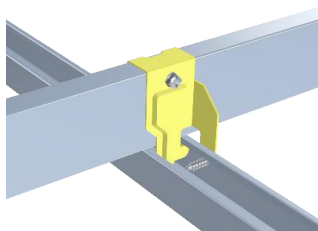
【ハリシタピースロック】	【ハリシタピースロックZ】	【ハネダシサポート】	【先行ピース取付金物】
●先行ピースの固定 p.28～29参照  60タイプ 40タイプ 20タイプ t4.5mm 各50個入 60タイプ/14.2kg, 40タイプ/12.9kg, 20タイプ/12.2kg	●先行ピースの固定 p.30～31参照  60タイプ 40タイプ 20タイプ t4.5mm 各50個入 60タイプ/9.2kg, 40タイプ/7.9kg, 20タイプ/6.7kg	●先行ピースの固定 p.32～35参照  65用 75用 100用 t2.3mm 65用 50個入/12.9kg 75用 40個入/11.4kg 100用 30個入/10.0kg	●先行ピースの固定 p.36参照  65用 75用 ※その他サイズも製作可能です t2.3mm 65用 100個入/20.4kg 75用 80個入/18.6kg
【MWジョイント】	【MWエンドロック38】	【MWクリップスペーサ65】	【アングルピース】
●振止めの連結や端部固定 p.38参照  19用 25用 t0.8mm 19用 200個入/7.6kg 25用 150個入/7.4kg	●E-38の振れ止め端部固定 p.39参照  t0.5mm 900個入/7.6kg	●補強材にスタッド・ランナーを固定 p.40参照  t0.8mm 500個入/9.9kg	●ドア開口補強等 p.41参照  t3.2mm W35 250個入/12.0kg W50 200個入/14.0kg t4.5mm W50 100個入/15.1kg W75 50個入/12.0kg
【スペーサーぱっちん】	【遮煙用アングルピース】		
●スペーサーの取付工具 p.42参照  ※受注生産品 t2.3mm 0.2kg/本	●溝形鋼等の小口塞ぎ p.43参照 New  [-75用 C-65用 C-75用] t1.2mm [-75用 250個入/13.0kg C-65用 250個入/9.5kg C-75用 250個入/13.5kg] ※他サイズの溝形鋼、C形鋼用も受注生産可能		

※改良の為、予告なく商品の形状・寸法を変更する事がありますのでご了承ください。
※金具はすべてバラ出荷出来ます。
※受注生産品の納期は1週間～10日間程度になります。
※金具に使用するねじは指定のねじをご使用ください。指定のない場合は巻末の「推奨ねじ一覧表」をご覧ください。

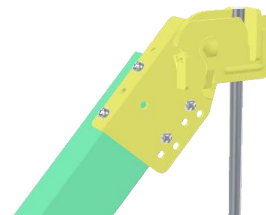
天井金具使用例①

(MC高耐震工法 Strong38)

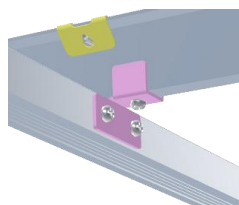
MCクリップ・・・p.14



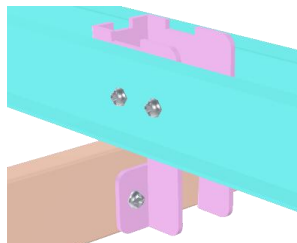
MCブレース・ストロング・・・p.9



MCクリップガード・・・p.15



MCクロス・ストロング・・・p.11



(天井ガコH < 1500の天井下地組)

MCブレースⅡ・・・p.7～8

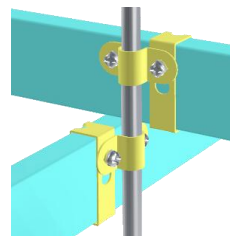
New



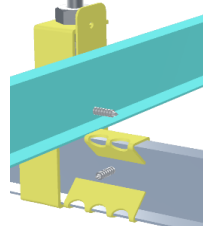
天井金具使用例②

(MC耐震工法)

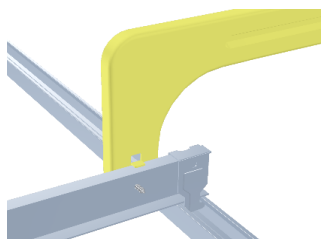
チャンネルフリークリップ・・・p.17



MCクロス・・・p.12



MC-125R・・・p.23



(天井ガコH ≥ 1500の天井下地組)

天井金具使用例③

(MCクリップ工法)

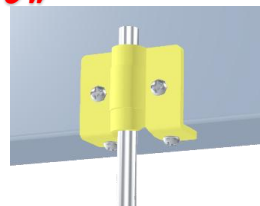
MCブレースⅡ…p.7～8

New

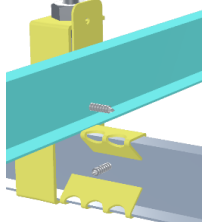


LG吊元ストロング…p.5～6

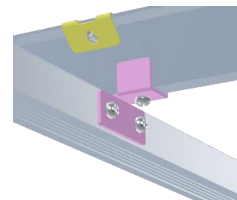
New



MCクロス…p.12



MCクリップガード…p.15

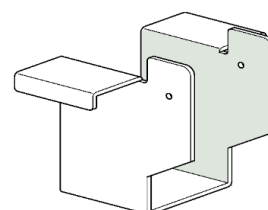


(ブドウ棚下天井下地組)

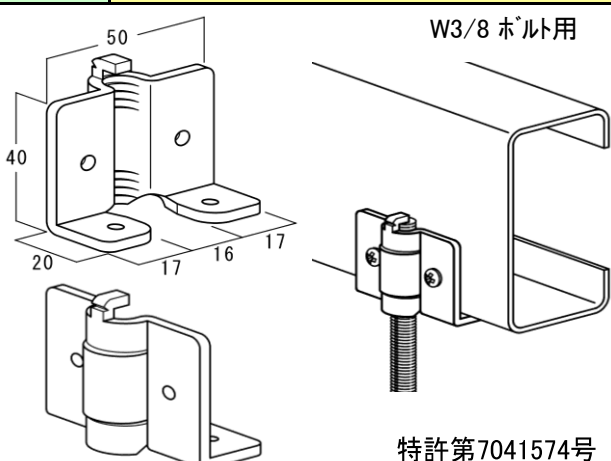
新発売!!ハネダンサポート

**業界初! 無溶接で
先行ピースのはね出し
を可能とした商品**

ハネダンサポート…p.32～35



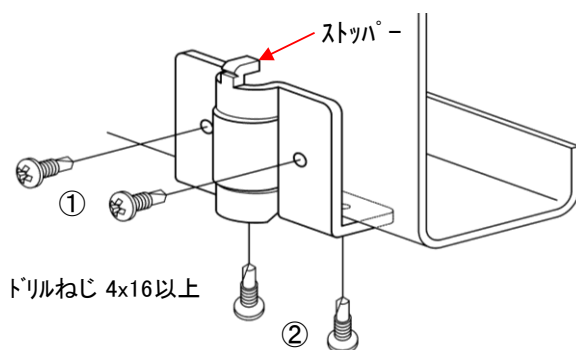
特許第7433141号

商品名	LG吊元ストロング	用途	吊りボルトの吊元
		特 長	・ブレースを取り付ける吊元に最適 ・角パイプにも取り付け可能 ・吊りボルトを後付け出来るようガイト付きなので入れやすい ・吊りボルトの水平補強材連結金具としても使用可能
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	3.2mm
		ケース	200個入(13.8kg)

取り付け方法

1. 金具の取り付け

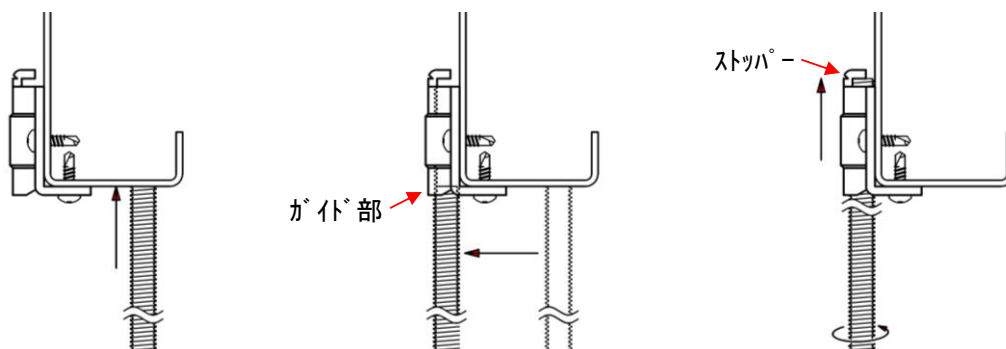
取り付け位置を墨出ししてLG吊元ストロング[®]を下図のようにねじ4本(4x16以上)で止め付ける。



※水平振れ止めやタテ下吊元の固定に使用時は①のねじ2本固定のみでも可(ただし、ぶどう棚への斜め材設置ヶ所より剛性を求める場合は4本固定とする)

2. 吊りボルトの取り付け

- ①吊りボルトをLGに突き当てる。
- ②そのまま金具に当たるまで水平にスライドさせる。
- ③ストッパーに突き当たるまで吊りボルトを回せば完了。



⚠ 施工上の注意事項

1. 必ずストッパーに当たるまで吊りボルトを上締めこんでください。
2. すきま防止の為、取付図のように①側面、②底面の順番でねじ止めしてください。(すきまがあると許容耐力に満たない場合があります。)

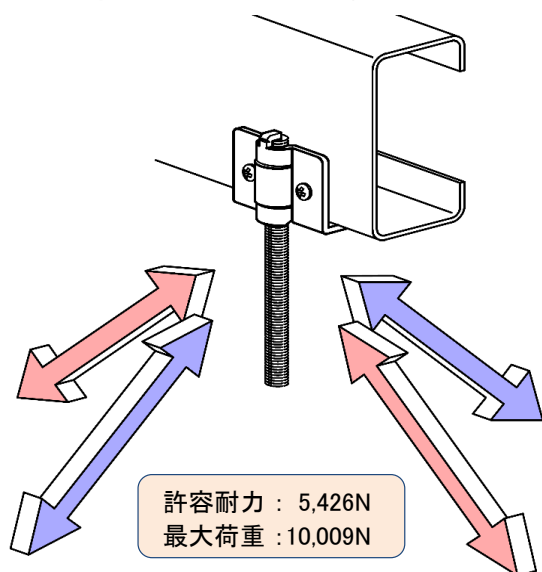
【強度一覧表】

鉛直方向		
C-100x50x20	t1.6	t2.3
最大荷重	10,259 N	13,258 N
損傷荷重	7,041 N	7,565 N
※ 許容耐力	4,694 N	5,043 N
水平方向		
C-100x50x20	t1.6	t2.3
最大荷重	13,947 N	16,434 N
損傷荷重	7,123 N	7,500 N
※ 許容耐力	4,749 N	5,000 N
斜め45° 方向		
C-100x50x20	t1.6	t2.3
最大荷重	6,525 N	10,009 N
損傷荷重	5,561 N	8,139 N
※ 許容耐力	3,707 N	5,426 N
鉛直方向 (ねじ2本止め)		
C-100x50x20	t1.6	t2.3
最大荷重	7,350 N	9,406 N
損傷荷重	5,851 N	7,148 N
※ 許容耐力	3,901 N	4,766 N

※耐力評価は、国交省告示771号「建築物における天井脱落対策に係る技術基準の解説」より部材接合部の耐力・剛性の設定方法に準拠

※斜め45° はMCブレース・ストロング[®]を使用している数値なので他のブレース金具では適用されません。

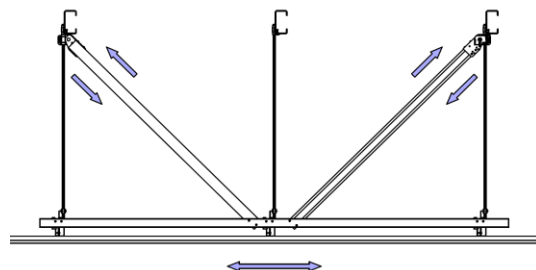
その吊元は大丈夫ですか!?

LG吊元**ストロング**なら大丈夫!!

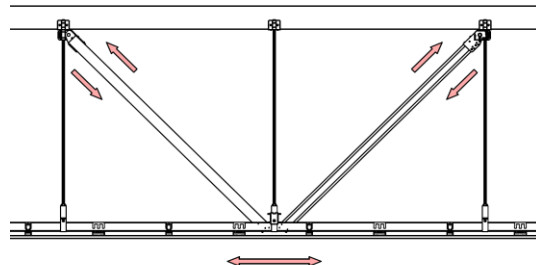
※上記数値はC-100x50x20x2.3に取り付けて斜め45°で試験した際、一番弱かった方向の数値です。
(MCブレース・ストロング使用)

吊元に耐震ブレースを設置した場合、鉛直方向以外に地震時に下図のような方向から繰返し荷重を受ける為、十分な強度が必要になります。

吊元に対して直交方向

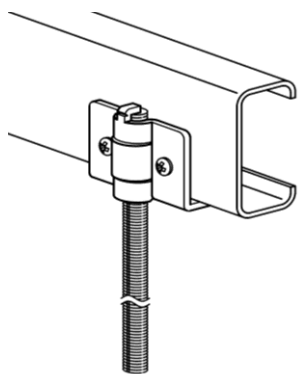


吊元に対して平行方向

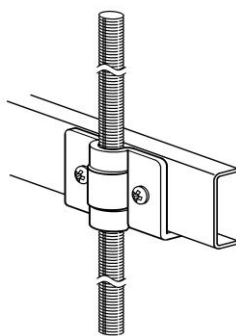


施工例

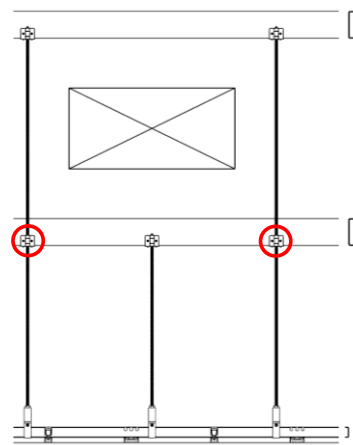
■C形鋼



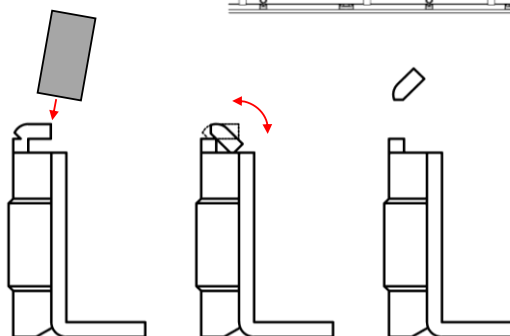
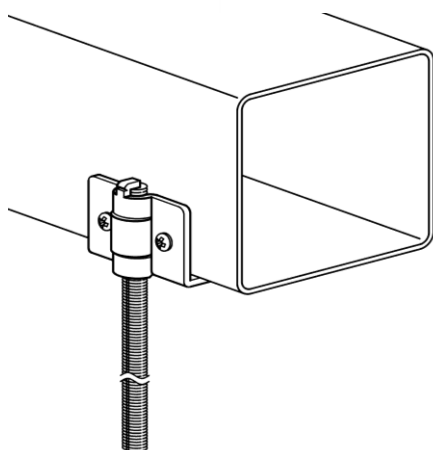
■水平振れ止めの固定



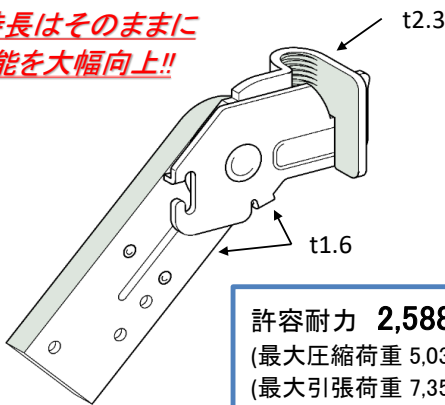
■ダクト等配管下吊元の固定



■角パイプ



- 注1. 水平振れ止めに使用の場合は予め『ストップ』を切り取ってご使用ください。
注2. 『ストップ』の上部をハンマー等で叩き、ペンチ等で2~3回上下に曲げると切り取れます。

商品名	MCブレースⅡ	用途	ブレース上部金具
従来の特長はそのままに 機能・性能を大幅向上!!  許容耐力 2,588N (最大圧縮荷重 5,033N) (最大引張荷重 7,352N) ※CC-19使用時		特 長	・ピンポイント、ワンタッチ取り付け ・可動域フリー(推奨 30° ~ 60°) ・W3/8 ホルト用
		適合ブレース補強材	C-25x25x5(ブレースバー) □-38x12, □-40x20, C-40x20x10, C-40x30x10 C-45x30x10, C-50x30x10 C-60x30x10, C-65x30x10
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板 等
		板 厚	固定片 2.3mm、その他 1.6mm
		ケース	120個入/11.9kg スリング8m、脱着金具付

各部の名称

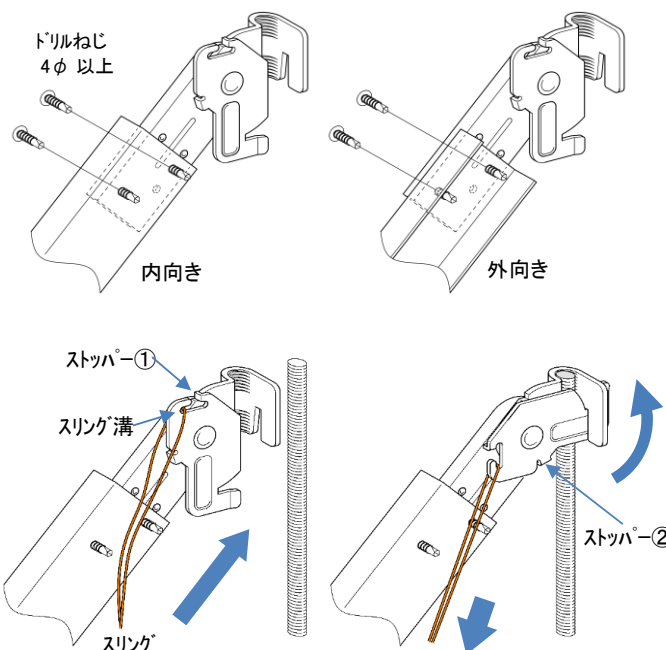
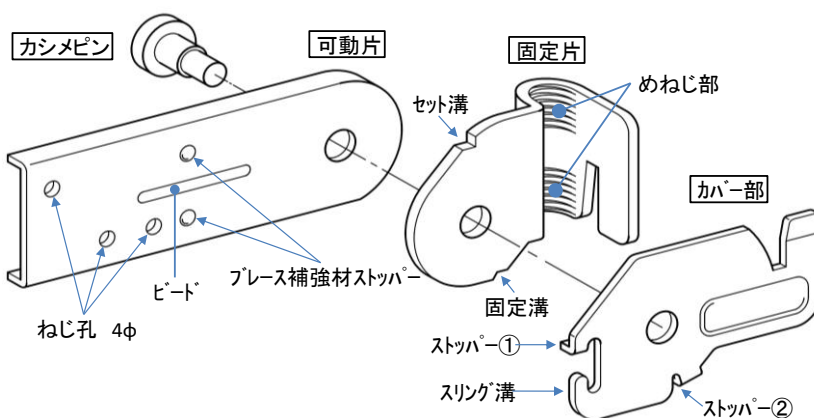
取り付けについては同封の「取扱説明書」をよくご確認の上、正確・安全な施工をお願い致します。

取り付け方法

1. ブレース補強材の先端にMCブレースⅡをねじで止め付ける。止め付ける際は、可動片のブレース補強材ストッパー2点にブレース補強材の先端が接し、かつ越えないようにする。

注意!：可動片にブレース補強材を取り付ける際、向きが変わっても右図の方向からねじ止めする。

2. MCブレースⅡの設置に使用するスリングは、ブレース補強材の長さx2(+300mm)程度に切断し、中央部を「スリング溝」に引っ掛ける。カバー部のストッパー①が固定片のセット溝にある事を確認しスリングを通したままブレース補強材と一緒に持ち、設置するボルトの上部面に固定片が当たるまで差し上げる。
3. 吊りボルトに固定片のめねじ部をしっかり入れ、スリングをブレース補強材よりやや下へ引っ張る。カバー部が回転しストッパー②がガチンとロックされたらスリングを抜き完了。

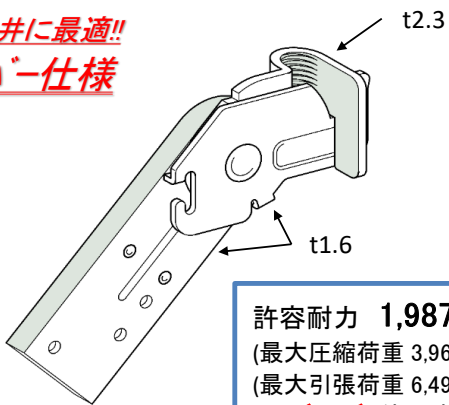


⚠ 施工上の注意事項

1. MCブレースⅡの取り付け位置は、吊りボルト1本につき1カ所かつ吊りボルト頂部・スリング底面に達するものとし、固定角度は天井面に対して30° ~ 60°程度で設置してください。
2. ブレース補強材は水平震度、フロア高さ等によって変わります。条件に適したブレース補強材をご使用ください。
3. ストッパー②がロックされるとガチンと音がして固定片とカバー部の下面が同面になります。しっかり固定されないと脱落の原因となりますので確実に固定してください(同封の取扱説明書を参照)。また、取り外しは無理に外そうとすると破損・変形の恐れがありますので必ず脱着金具で取り外してください。



動画用QRコード

商品名	MCブレースⅡ (ブレスバー仕様)	用途	ブレース上部金具
システム天井に最適!! ブレスバー仕様  許容耐力 1,987N (最大圧縮荷重 3,964N) (最大引張荷重 6,491N) ※ブレスバー使用時		特長	・ピンポイント、ワンタッチ取り付け ・可動域フリー(推奨 30°~60°) ・W3/8 ホルト用
		適合ブレース補強材	C-25x25x5(ブレスバー) □-38x12, □-40x20, C-40x20x10, C-40x30x10 C-45x30x10, C-50x30x10 C-60x30x10, C-65x30x10
		材質	溶融亜鉛メッキ鋼板 等
		板厚	固定片 2.3mm、その他 1.6mm
		ケース	120個入/11.9kg スリング8m、脱着金具付

システム天井には「ブレスバー」仕様が最適!!

システム天井等には軽くて丈夫な「ブレスバー」をブレース補強材に採用。軽量・安全なシステム天井を実現します。

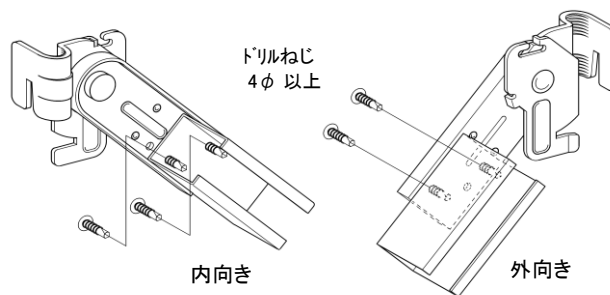
取り付け方法

取り付けについては同封の「取扱説明書」をよくご確認の上、正確・安全な施工をお願い致します。

■ブレスバーの取り付け

1. ブレスバーの先端にMCブレースⅡをねじ止めする。
取り付ける向きによってねじ止め位置が異なるので注意する。(図1参照)
取り付ける際、外向きの場合は可動片のブレース補強材ストップ-2点にブレスバーの先端が接し、かつ越えないようにし、内向きの場合は可動片のビード部にブレスバーの先端が接し、かつ越えないようにしてねじ止めする。

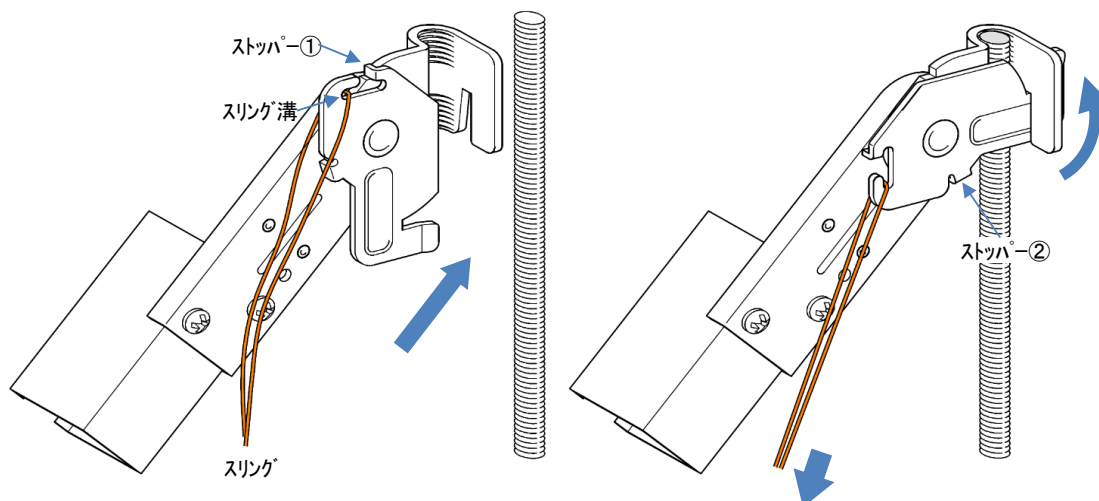
図1.ブレスバーの取り付け



■吊りホルトへの取り付け

2. MCブレースⅡの設置に使用するスリングは、ブレース補強材の長さx2(+300mm)程度に切断し、中央部を「スリング溝」に引っ掛ける。カバー部のストップ-①が固定片のセット溝にある事を確認しスリングを通したままブレース補強材と一緒に持ち、設置するホルトのスラブ面に固定片が当たるまで差し上げる。(図2 左)
3. 吊りホルトに固定片のめねじ部をしっかりと入れ、スリングをブレース補強材よりやや下へ引っ張る。カバー部が回転しストップ-②がカチンとロックされたらスリングを抜き完了。(図2 右)

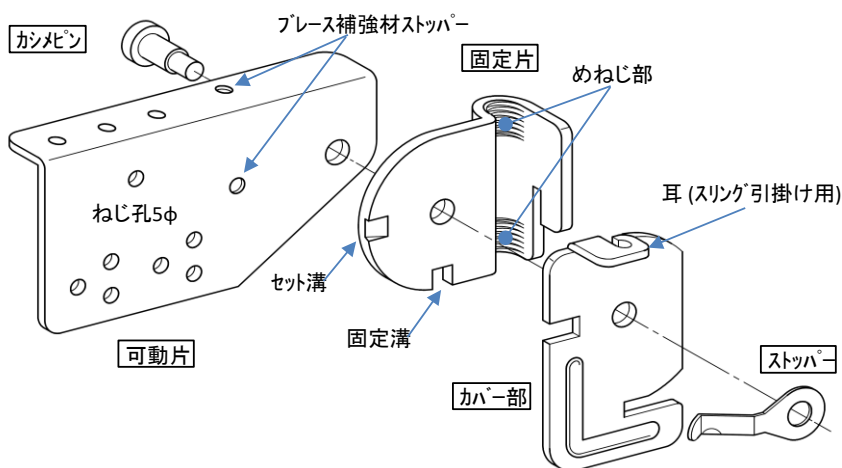
図2.吊りホルトへの取り付け



商品名	MCブレース・ストロング	用途	ブレース上部金具
MCブレース・ストロング MCブレース・ストロング L 許容耐力 4,890N (最大圧縮荷重 14,289N) (最大引張荷重 11,755N) 特許第6469502号		特 長	・ピンポイント、ワンタッチ取り付け ・可動域 25°～65° ・W3/8 ホルト用
		適合ブレース補強材	C-40×20×10, C-40×30×10 C-45×30×10, C-50×30×10 ※C-60×30×10, ※C-65×30×10 (※はMCブレース・ストロング L)
		板 厚	固定片 3.2mm、その他 2.3mm
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板 等
		ケース	80個入/17.9kg Lは60個入/16.7kg スリング8m、脱着金具付

各部の名称

取り付けについては同封の「取扱説明書」をよくご確認の上、正確・安全な施工をお願い致します。



取り付け方法

1. カバー部の耳にスリングを通してブレース補強材と一緒に持ち、設置する吊りボルト頂部、スラブ底面に固定片が当たるまで差し上げる。
2. 吊りボルトに固定片のめねじ部をしっかりと合わせ、スリングをブレース補強材よりやや下へ引っ張る。カバー部が回転しストッパーがカシメピンとロックされたら取り付けは完了。後はスリングを引き抜き作業終了。

ブレース補強材へのねじ止めは二面固定とし、各2本ずつねじ止めする。

ドリルねじ 4x16

ブレース材

スリング
吊りボルト

ストッパーが
ロックされる

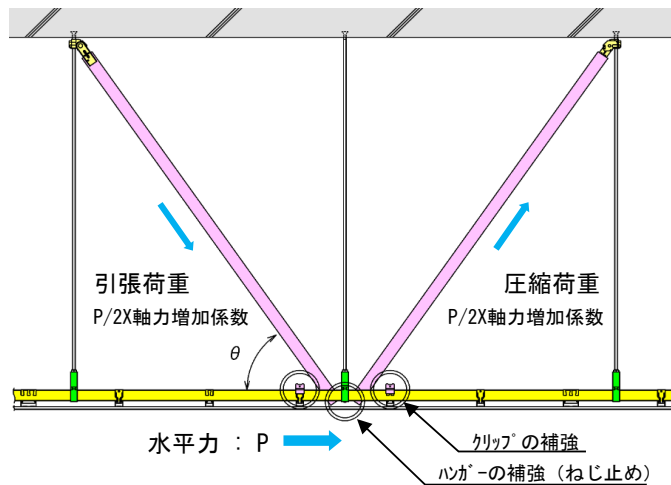
⚠ 施工上の注意事項

1. MCブレース・ストロングの取り付け位置は、吊りボルト1本につき1カ所かつ吊りボルト頂部・スラブ底面に達するものとし、固定角度は天井面に対して30°～60°程度で設置してください。
2. ブレース補強材は水平震度、フロア高さ等によって変わります。条件に適したブレース補強材をご使用ください。
3. ストッパーがロックされるとバチンと音がして真下に向きます。ただし、ロックされた事が確認出来ない場合は、脱着金具を使用して固定してください。また取り外しも無理に外そうとすると破損・変形の恐れがありますので必ず脱着金具で取り外してください。



動画用QRコード

ブレース補強設置要領

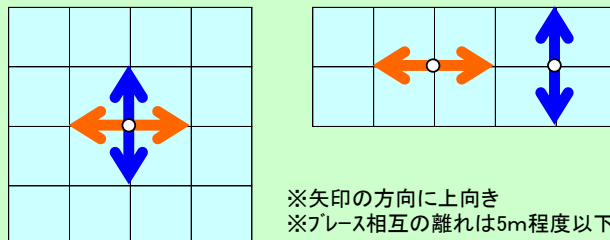


吊りボルト @	長さ	角度 θ	軸力増加 係数
900	500	29	1.14
	600	34	1.20
	700	38	1.27
	800	42	1.34
	900	45	1.41
	1000	48	1.49
	1100	51	1.58
	1200	53	1.67
	1300	55	1.76
	1400	57	1.85
	1500	59	1.94

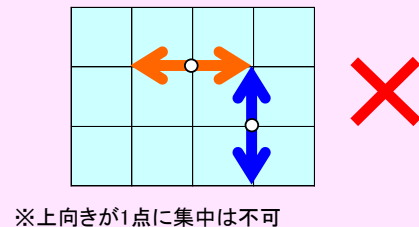
ブレース施工要領

- ①ブレースはX, Y方向それぞれにバランスよく1組以上設置する。
- ②ブレース相互の離れは5m程度以下とする。(1組のブレースが負担する面積の限界は25㎡とする。)
- ③ブレースの角度が大きくなるとその効果が低下するので、ブレースの角度は30°～60°程度とする。
- ④天井のフロアが1500以上の場合は、水平補強材をX, Y方向に@1800で均等割に設ける。
- ⑤水平地震力が加わったとき吊りボルトの座屈防止の為、ブレース補強はV字補強とする。
- ⑥ブレース補強材下端付近にあるクリップ・ハンガーは、金具やねじで補強する。
(ブレース補強材に伝わる荷重が下端付近のクリップ・ハンガーに加わる為。)

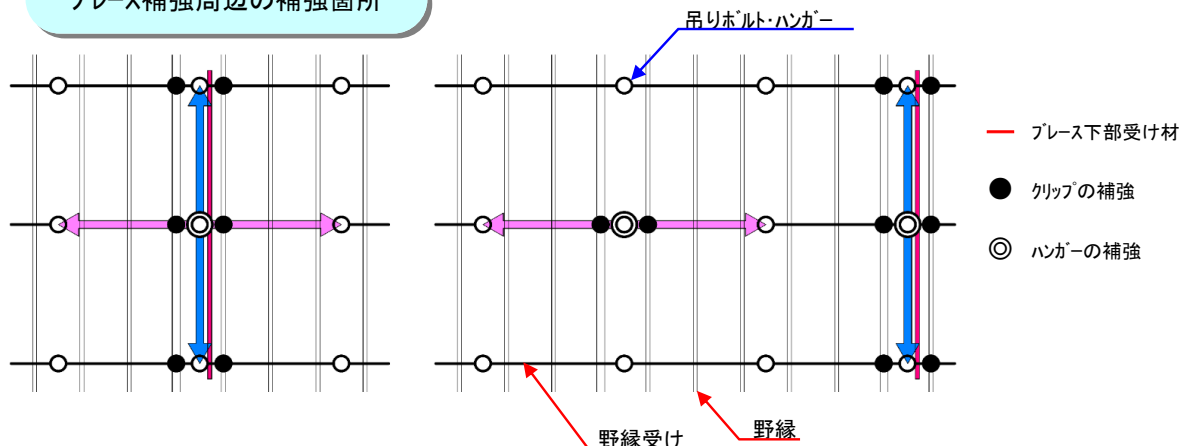
ブレース設置パターン(X, Y方向に1組)

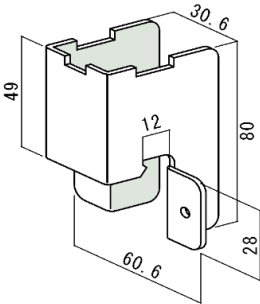
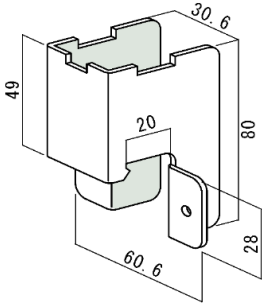


ブレース設置不可のパターン



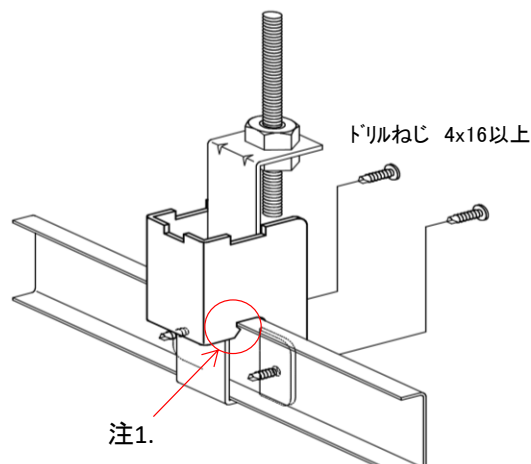
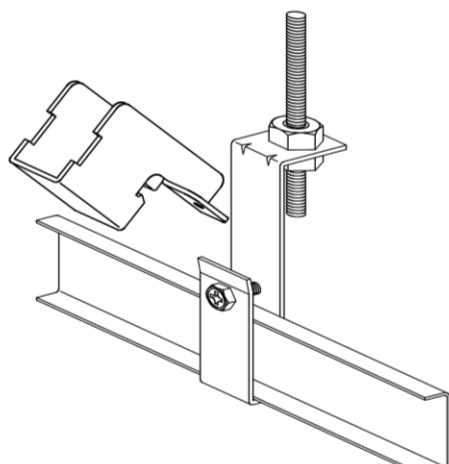
ブレース補強周辺の補強箇所



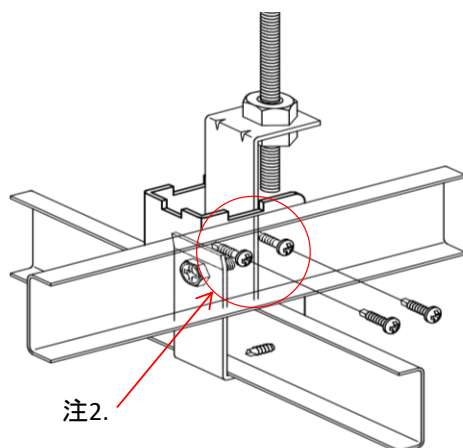
商品名	MCクロス・ストロング	用途	ブレース下部受け材の固定
□-38x12用  □-40x20用  意匠登録第1546138号		特長 ・ブレース下部受け材の固定とハンガーの補強を同時に出来る ・ブレース下部受け材を2本取り付け可能でハンガーの向きに左右されない	
		強度 ・許容耐力 2,835N (野縁方向最大 8,270N)	
		材質 溶融亜鉛メッキ鋼板	
		板厚 2.3mm	
		ケース 各100個入/13.8kg	

取り付け方法 耐震補強用にブレース下部受け材を2本取り付ける場合

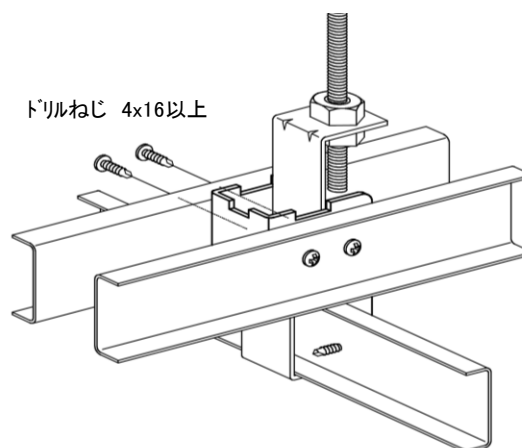
- 1.ハンガーの上から下図のように金具をかぶせる。
- 2.野縁受けの背中側からねじで止め付ける。



- 3.下図のように下部受け材をねじ2本で固定する。

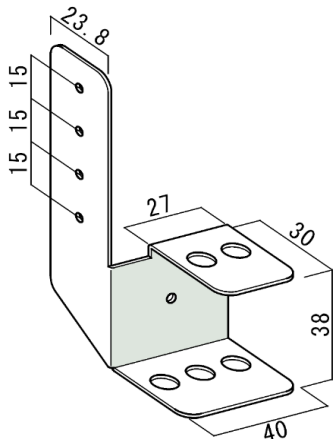


- 4.反対側も同様にに取り付ける。



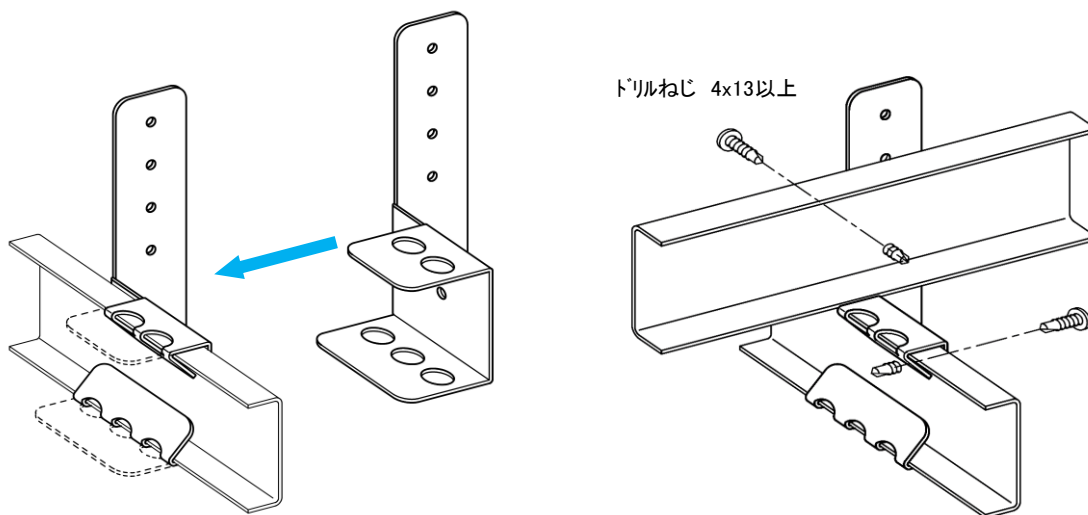
⚠ 施工上の注意事項

- 注1. 野縁受けに取り付ける際には、フック上部に金具の爪部がしっかりと掛かっている事を確認してください。
- 注2. ブレース下部受け材を取り付ける際には、ハンガーを避けてねじ止めしてください。

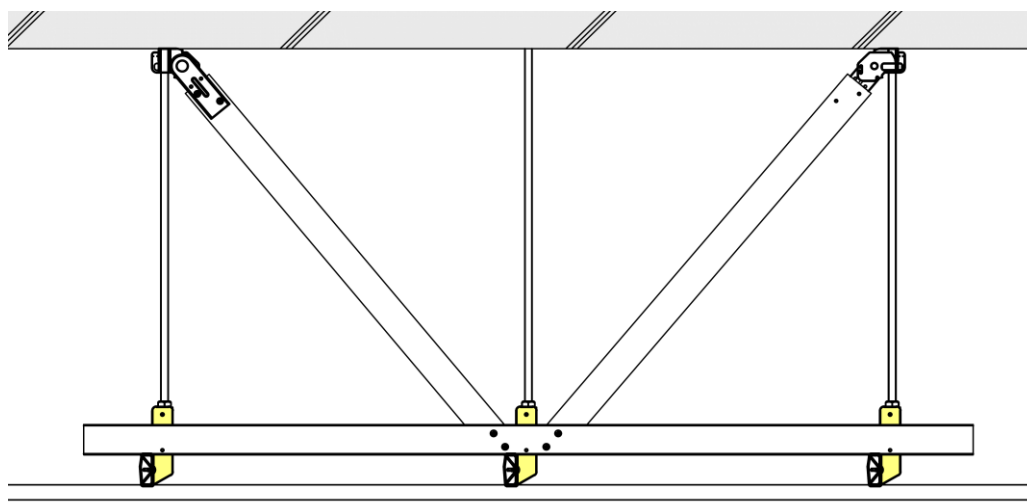
商品名	MCクロス	用途	ブレース下部受け材の固定
		特 長	・耐震ブレース補強、追加野縁受けの固定 ・ブレース補強材以外の取り付けも可能
		強 度	許容耐力 963N (野縁方向最大 2,092N)
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	1.2mm
		ケース	150個入/8.3kg

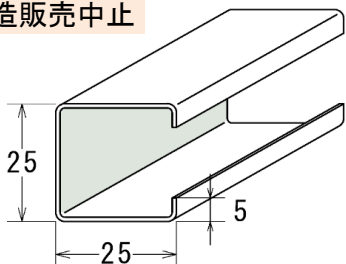
取り付け方法

1. 野縁受けにMCクロスをはめてプライヤー等で折り曲げて固定する。
2. CC-19等をMCクロスに合わせてねじ止めする。



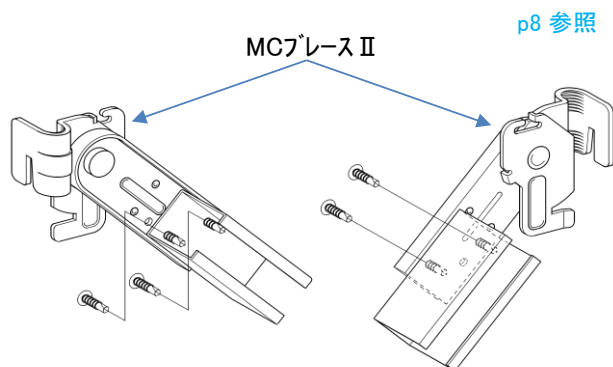
施工例



商品名	ブレースバー(C-25x25x5x1.0)	用途	ブレース補強材・吊りボルト座屈防止
※一時 製造販売中止  定尺 2m(その他長さにも対応)		特 長 ・断面形状が強く軽いのでシステム天井等のブレース補強材に最適 ・座屈に強いので吊りボルトの座屈防止にも使用可能(BPホルダーと併用)	
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	1.0mm
		梱 包	10本/12.1kg

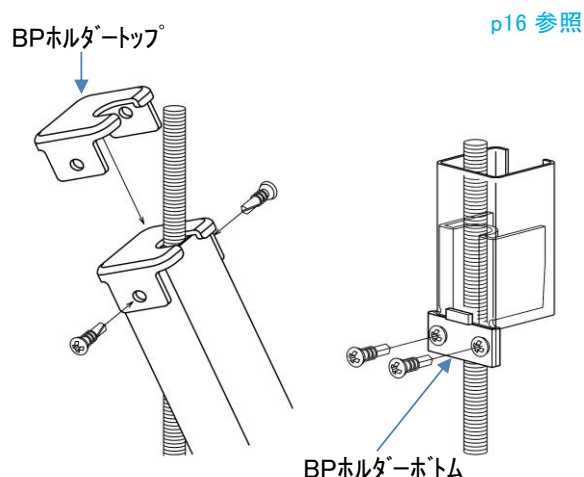
用途-1 ブレース補強材として!!

MCブレースⅡを取り付けて耐震ブレースとして使用。
軽くて強いのでシステム天井に最適です。



用途-2 吊りボルトの座屈防止に!!

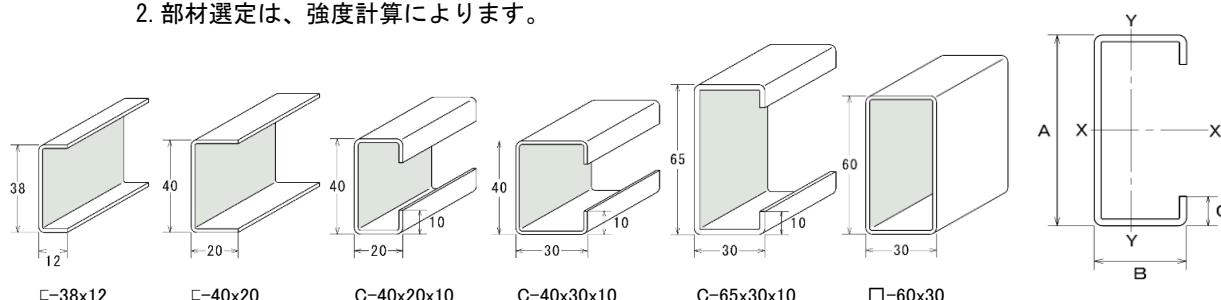
BPホルダーを取り付けて吊りボルトの座屈防止材に使用。**後付け可能**なのでとても便利です。

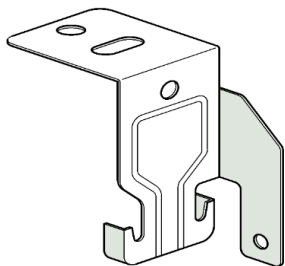
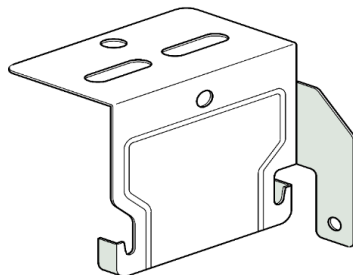
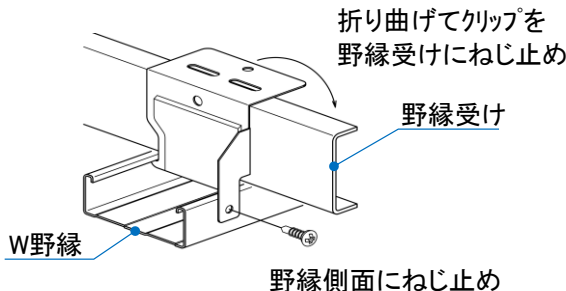
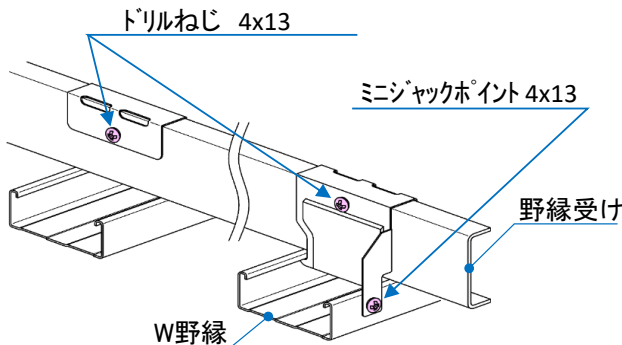
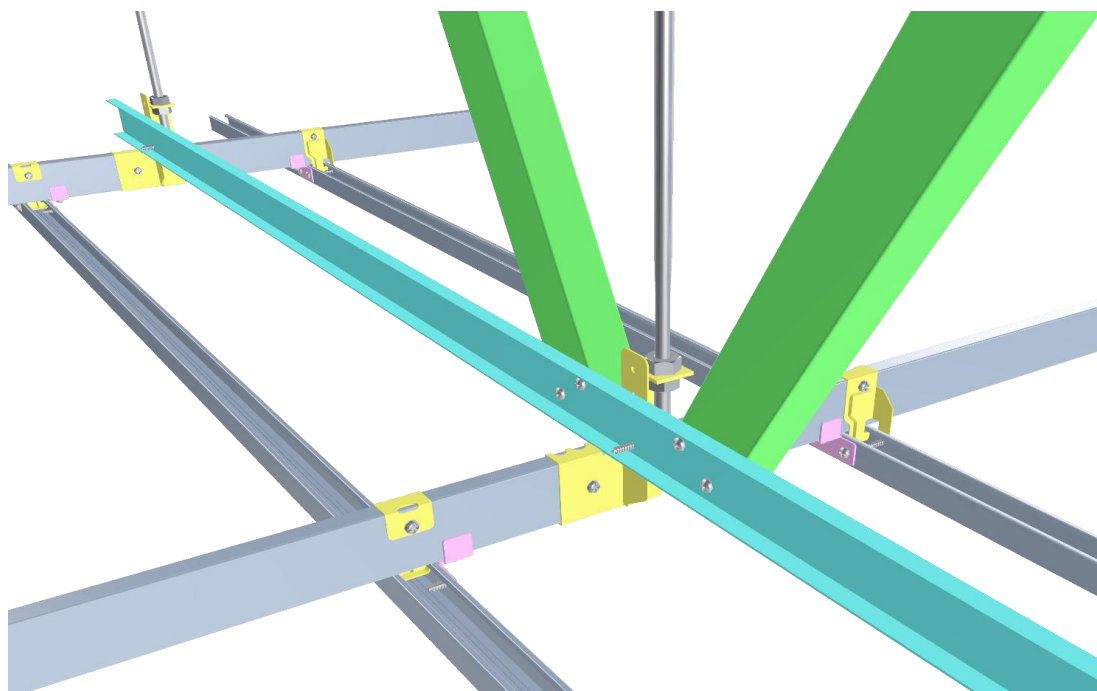


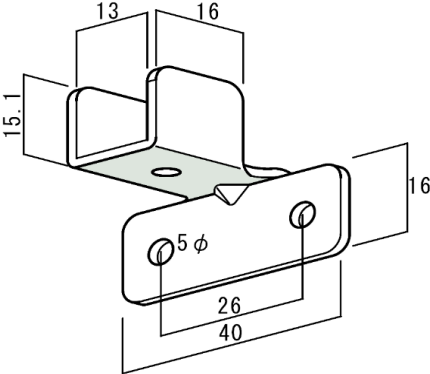
【断面性能表】 ブレースバー その他ブレース補強材

商品名	単位重量 (kg/m)	断面積 (mm ²)	断面二次モーメント		断面係数		断面二次半径	
			I _x (mm ⁴)	I _y (mm ⁴)	Z _x (mm ³)	Z _y (mm ³)	i _x (mm)	i _y (mm)
□-38x12x1.2	0.560	72.00	14,300	900	750	90	14.1	3.5
□-38x12x1.6	0.730	94.00	18,300	1,100	960	120	14.0	3.4
ブレースバー(C-25x25x5x1.0)	0.602	81.00	8,950	6,670	716	649	10.5	9.1
□-40x20x1.6	0.906	122.88	30,251	4,742	1,513	848	15.7	6.2
C-40x20x10x1.6	1.134	149.12	35,613	8,751	1,774	1,096	15.5	7.7
C-40x30x10x1.4	1.151	160.16	42,381	20,885	2,119	1,193	16.3	11.4
C-45x30x10x1.4	1.240	167.16	55,646	21,820	2,473	1,213	18.2	11.4
C-50x30x10x1.4	1.300	174.16	71,001	22,680	2,840	1,229	20.2	11.4
C-60x30x10x1.4	1.420	188.00	108,300	24,200	3,610	1,260	23.9	11.3
C-60x30x10x2.3	2.280	276.00	155,200	33,700	5,170	1,750	23.7	11.0
□-60x30x1.6	2.130	277.76	125,000	42,500	4,160	2,830	21.5	12.5
C-65x30x10x1.4	1.480	195.00	130,400	24,800	4,010	1,260	25.8	11.2
C-65x30x10x2.3	2.350	286.00	187,300	34,700	5,760	1,770	25.5	11.0

※備考： 1. 適用長さは、吊りボルトの長さ 天井仕上材の重量により変わります。
 2. 部材選定は、強度計算によります。



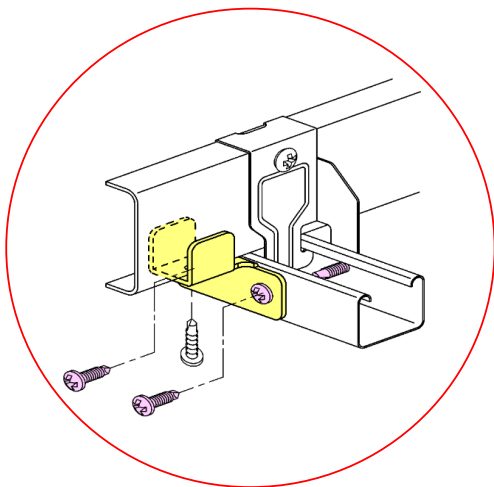
商品名		MCSクリップ [®]	商品名	MCWクリップ [®]	
		特許第6001408号			特許第6001408号
ケース/1,000個入り		t0.6mm 14.5kg t0.8mm 18.6kg	ケース/500個入り		t0.6mm 12.8kg t0.8mm 15.8kg
同梱 (野縁用：ミニジャックポイント 1,000本) (野縁受け用：ドリルねじ 1,000本)			同梱 (野縁用：ミニジャックポイント 500本) (野縁受け用：ドリルねじ 500本)		
特 長：野縁受けと野縁がずれないスレ防止ねじ孔付きクリップ [®]			材 質：溶融亜鉛メッキ鋼板		
※バラ出荷には別途手数料がかかります。					
取り付け方法					
					
					

商品名	MCクリップガード	用途	ブレース周辺のクリップ補強等
 意匠登録第1546139号	特 長	・野縁受けと野縁を強固に固定 ・野縁受け同士の直交	
	強 度	・許容耐力 517 N (野縁方向最大 2,677N)	
	※MCWクリップ(0.6) + MCクリップガードで野縁と野縁受けを固定、野縁方向に荷重を加えた時の平均値。 注:上記許容耐力は組み合わせ中最も低い数値です。 MCクリップ以外の他社クリップにこの許容耐力は適用されません。		
	材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板	
	板 厚	1.6mm	
	ケース	500個入/8.7kg	

取り付け方法

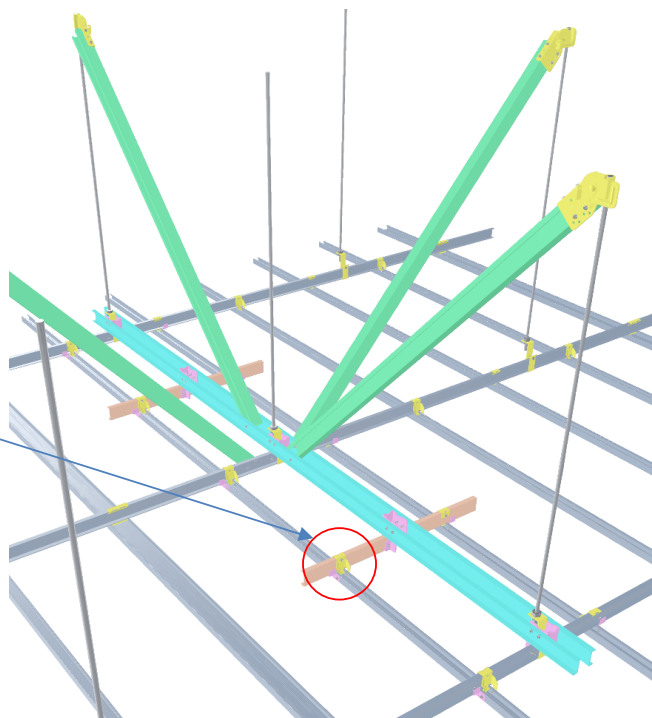
耐震ブレース周辺のクリップを補強する場合

MCクリップと野縁側面をねじ止めしている反対側にMCクリップガードを下図のようにねじ止める。



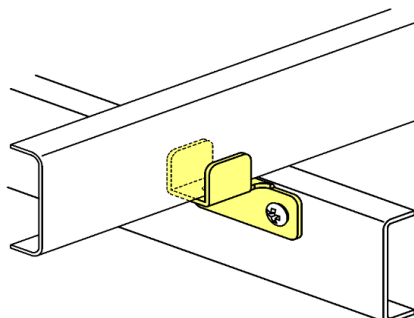
施工例

MC高耐震工法 Strong38仕様



その他施工例

野縁受け同士の固定に



⚠ 施工上の注意事項

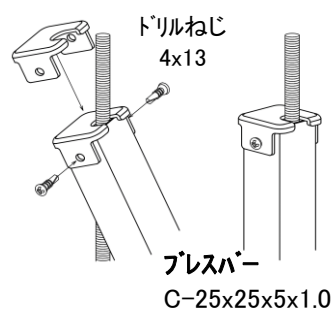
1. 野縁への取り付けは、ミニジャック® イント4x13又は同等品をご使用ください。
2. 野縁受けへの取り付けは、ドリルねじ4x13以上のねじをご使用ください。

商品名	BPホルダー	用途	吊りボルトの座屈防止
吊りボルトの座屈防止補強が 後施工で出来る!! W3/8 ボルト用 BPホルダー・トップ BPホルダー・ボトム BPホルダー・スペーサー (別売り) セット販売 ※一時 製造販売中止		特 長 ・施工後でも吊りボルトの座屈防止の補強が容易に出来る ・耐震、耐風圧の吊りボルト補強に使用	
		圧縮方向 最大荷重 ・吊りボルトL=1500 4,608N ・吊りボルトL=1200 6,139N ・吊りボルトL= 600 8,908N (L=600はスペーサーなし)	
		材 質 溶融亜鉛メッキ鋼板	
		板 厚 1.6mm (スペーサーは0.8mm)	
		ケース 200個セット/11.3kg (スペーサーは200個入/2.4kg)	

取り付け方法

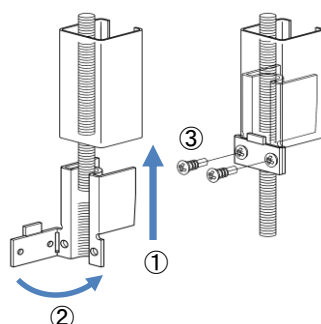
1.BPホルダー・トップの取り付け

吊りボルト補強材 (プレスバー) の先端部にBPホルダー・トップを下図のようにかぶせてねじ止めする。



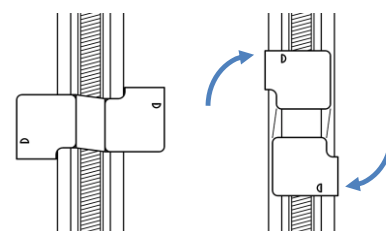
2.BPホルダー・ボトムの取り付け

プレスバーをスラブ底面に当てるまで押し上げ、BPホルダー・ボトムを下図のように差し込んでねじで固定する。



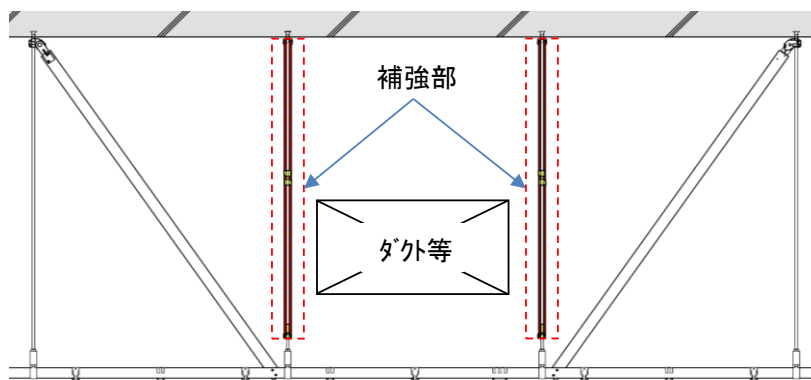
3.BPホルダー・スペーサーの取り付け

吊りボルトが600を超える場合は、補強材中央部にBPホルダー・スペーサーを下図のように差し込み、時計回りに回転させ固定する。



施工例

システム天井や特記仕様などで補強方法が示されている場合など。その他外部天井の座屈補強。

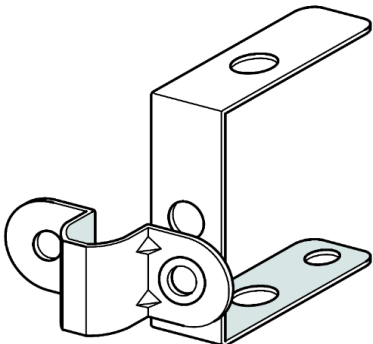


⚠ 施工上の注意事項

1. 吊りボルト補強材 (プレスバー) はスラブ底面又はブラ金具に当たるまでしっかり突き上げてから固定してください。
2. 補強する吊りボルトが600を超える場合は中間部にBPホルダー・スペーサーを使用してください。

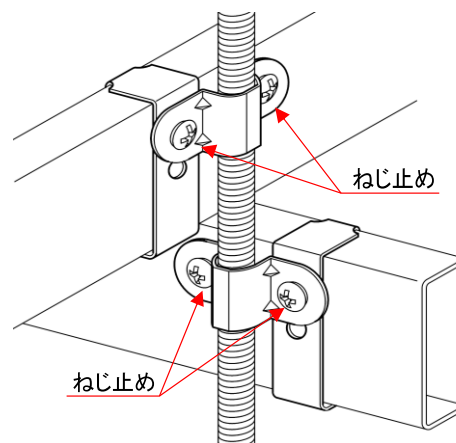
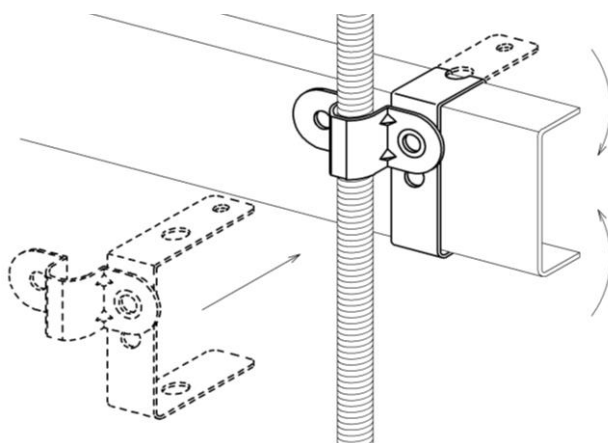


動画用QRコード

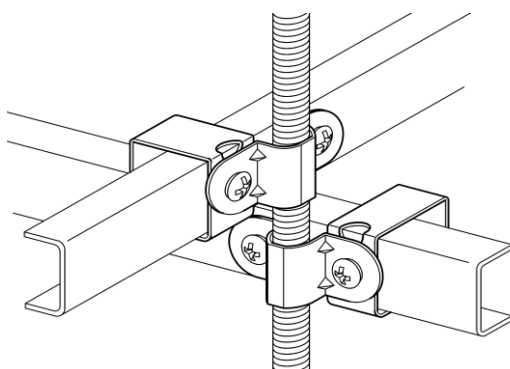
商品名	チャンネルフリークリップ [®]	用途	水平・斜め補強用金具
W3/8 ボルト用 		特 長	・吊りボルトの水平補強及び斜め補強 ・□-19x10, □-38x12に適用
		強 度	・鉛直方向 最大 4,758N ・水平方向 最大 4,950N ・斜め45度 最大 2,992N
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	0.8mm
		ケース	100個入/1.5kg ドリルねじ 4x13 200本付

施工例

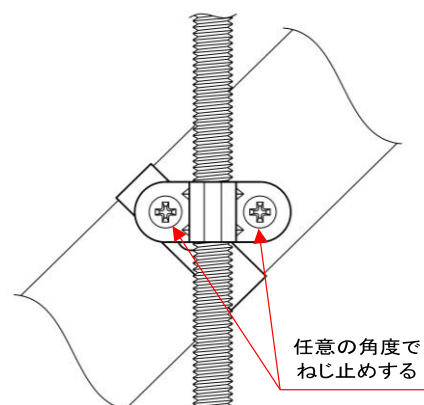
1.水平補強 (□-38x12)



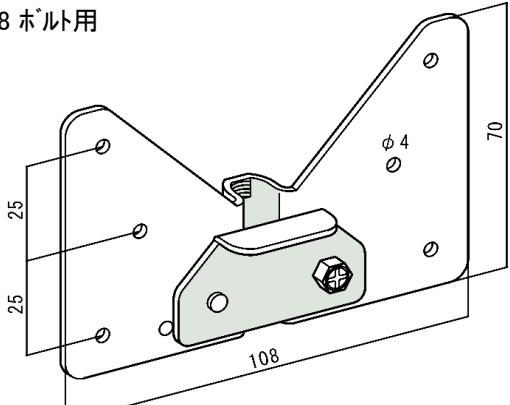
2.水平補強 (□-19x10)



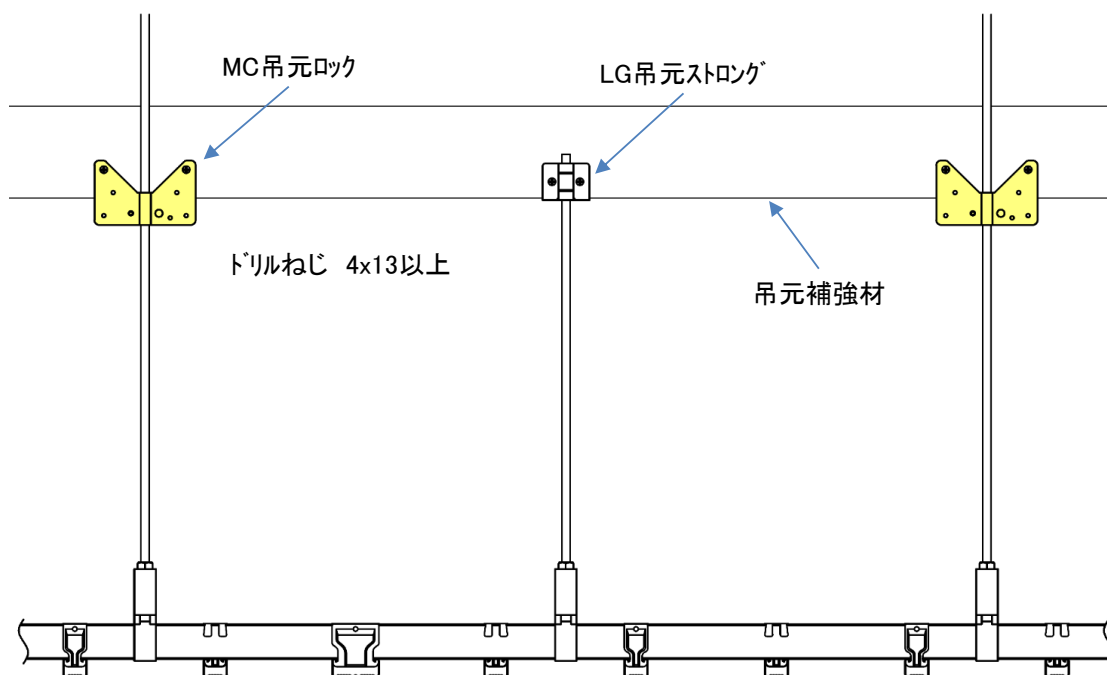
3.斜め補強



必ず付属のドリルねじ2本で固定してください！

商品名	MC吊元ロック	用途	吊元・水平補強用金具
W3/8 ボルト用 		特 長	・重量がある吊元補強材や水平補強材等の保持に最適 ・野縁受けの通りがよくなります ・ワンタッチで吊りボルトへの固定が可能
		損傷荷重 (最大荷重)	・鉛直方向 3,031N (最大4,224N)
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板 等
		板 厚	1.6mm
		ケース	200個入/19.2kg

施工例



施工上の注意事項

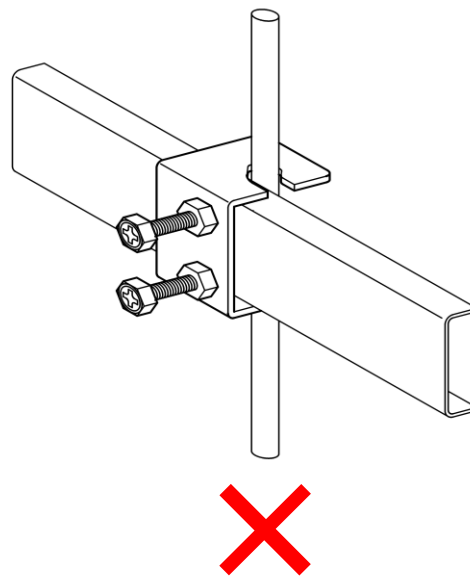
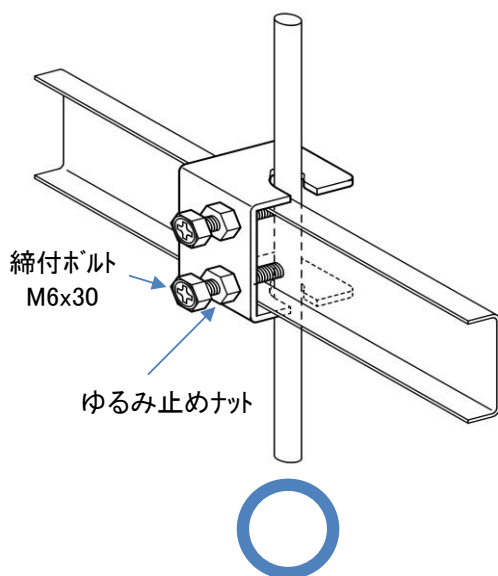
1. 吊りボルトの固定は確実に行ってください。
2. 足場等への使用はやめてください。

商品名	チャンネルホルダー(両ねじ用)	用途	水平補強用金具
W3/8 ボルト用 ※受注生産品 M6x30 2本同梱 (ゆるみ止めナット付)		特 長	・全ねじ、両ねじ吊りボルト(W3/8)の水平補強が可能 ・□-38x12専用
		強 度	・鉛直方向 最大 736N (4,297N) ・水平方向 最大 1,843N (2,644N) ※()内は全ねじボルトを使用した時の数値。
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板 等
		板 厚	2.3mm
		ケース	300個入/21.3kg

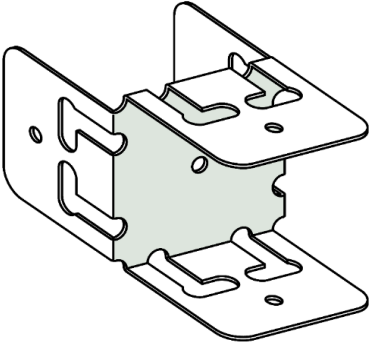
施工例

野縁受けの腹側から2本のボルトで締め付ける。

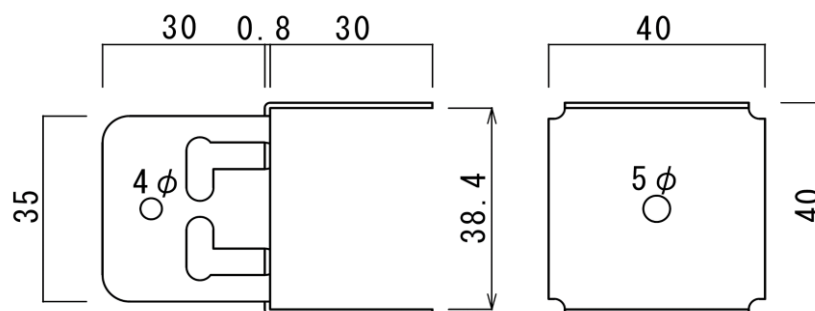
反対側は不可。



⚠ 最後に必ずゆるみ止めナットを締め付けてください。

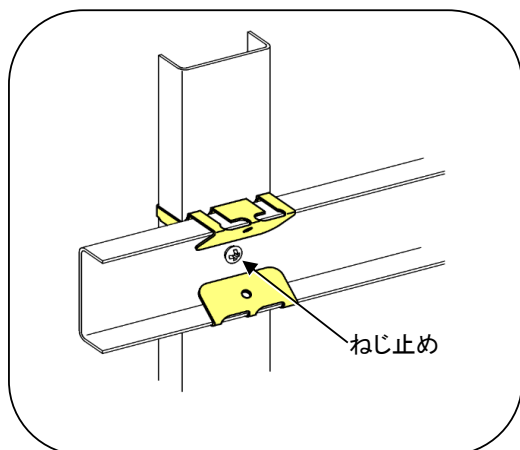
商品名	MC38クロスロック	用途	C-38x12固定金具
		特 長	・野縁受けを垂直・平面の両方向に固定 ・正確な矩出し
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	0.8mm
		ケース	150個入/4.7kg

形状・寸法

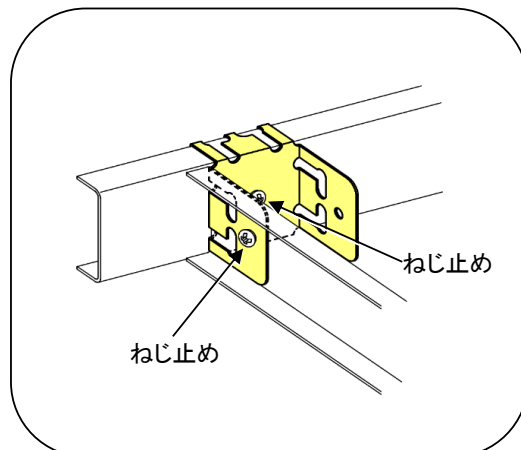


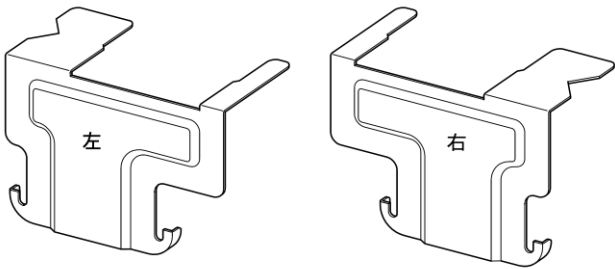
施工例

■垂直交差の場合

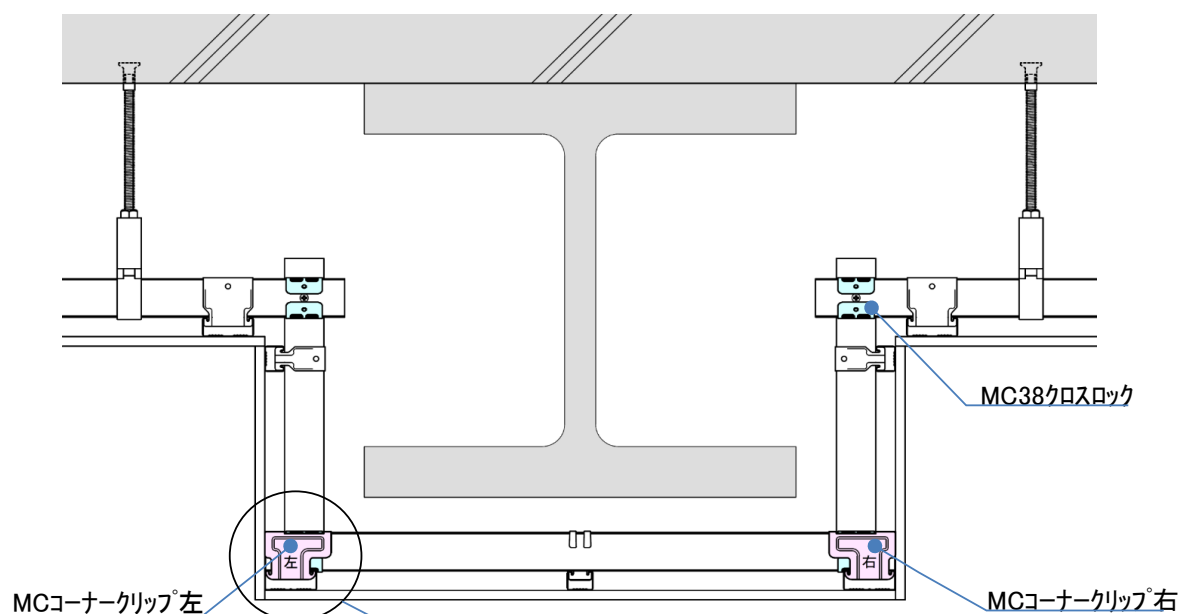


■平面交差の場合



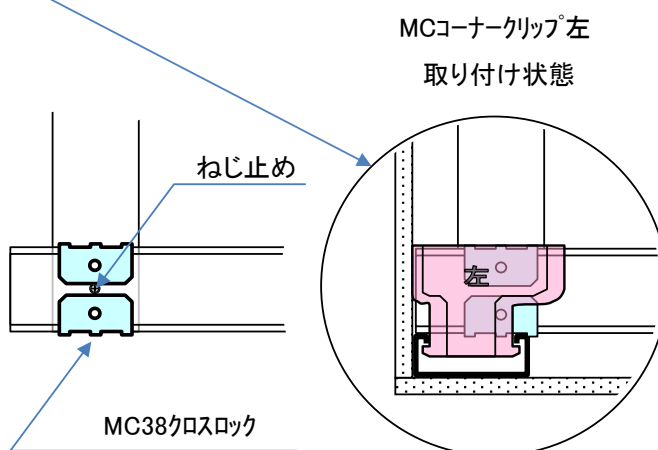
商品名	MCコーナークリップ°	用途	下がり壁用金具
		特 長	・コーナー部にW野縁をクリップで簡単に 取り付け可能
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	0.6mm
		ケース	各500個入/7.7kg

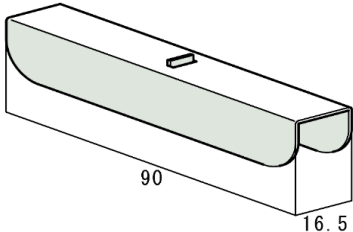
施工例



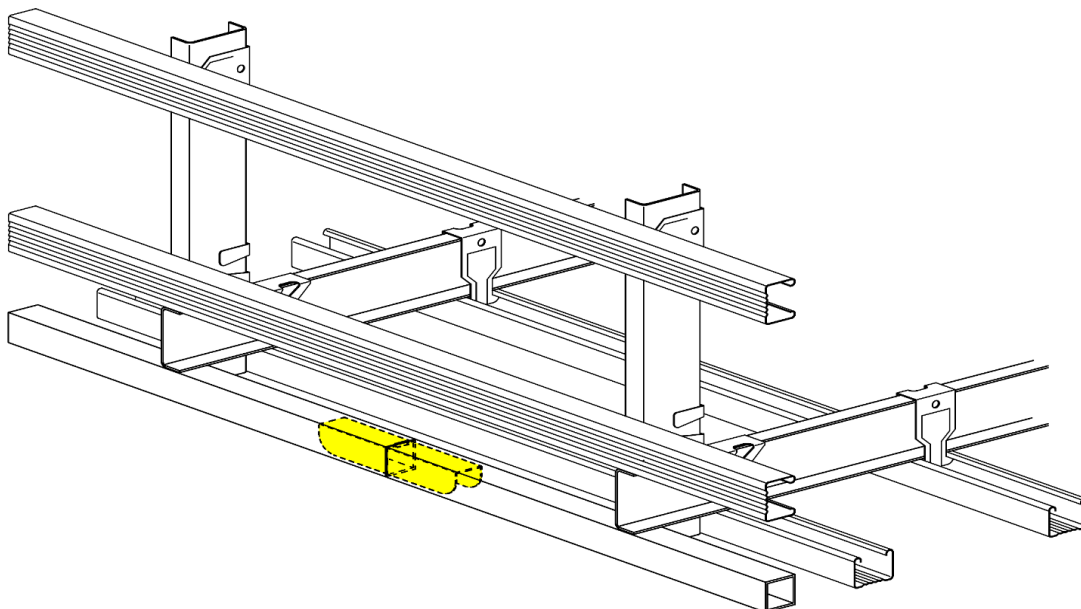
取り付け方法

1. MC38クロスロックで $\square 38 \times 12$ を取り付け、ねじで止め付ける。
2. MCコーナークリップ°でW野縁を取り付ける。



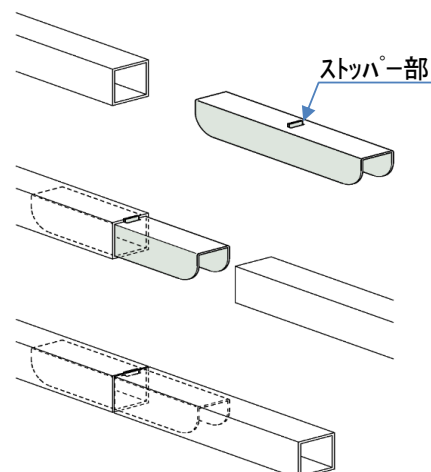
商品名	角パイプジョイント	用途	下がり壁用金具
 90 16.5 19×19×1.2角パイプ専用		特 長	・19×19×1.2角パイプ専用のジョイント ・段差のないきれいな仕上がり
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	0.8mm
		ケース	500個入/13.5kg

施工例

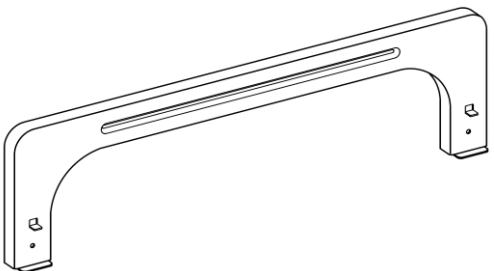


取り付け方法

1. 角パイプジョイントのストッパー部分がボード貼り面に当たらないように向きに注意して差し込む。
2. 接続する角パイプの端部を角パイプジョイントのストッパー部に当たるまでしっかり差し込み完了。



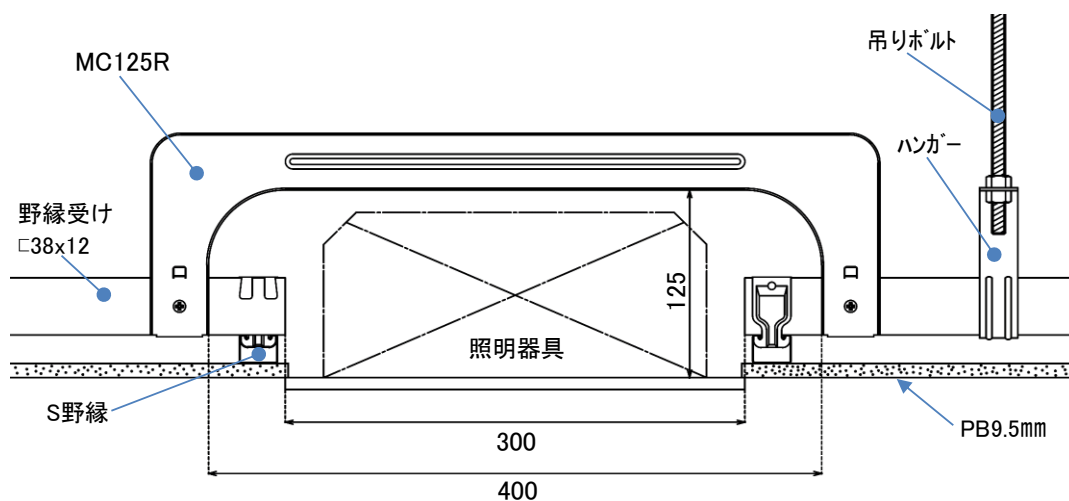
必要に応じてねじ止めしてください！

商品名	MC-125R	用途	照明開口補強用金物
		特 長	・開口両端部に吊り補強がいらない ・h125mm以下の照明器具に適用
		強 度	・水平圧縮方向最大 1,293N ・水平引張方向最大 1,587N
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	1.2mm
		梱 包	10本/3.4kg

形状・寸法

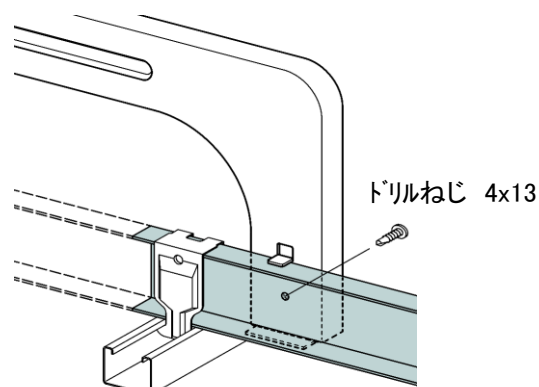
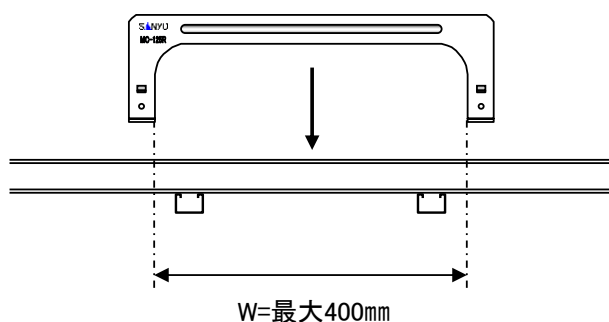
施工条件 天井開口高さ 200mm以上

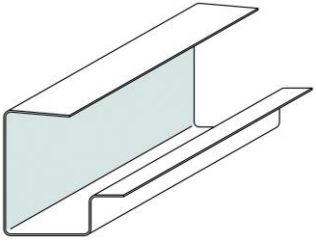
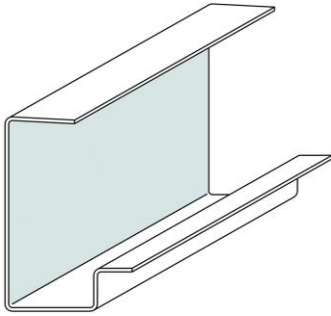
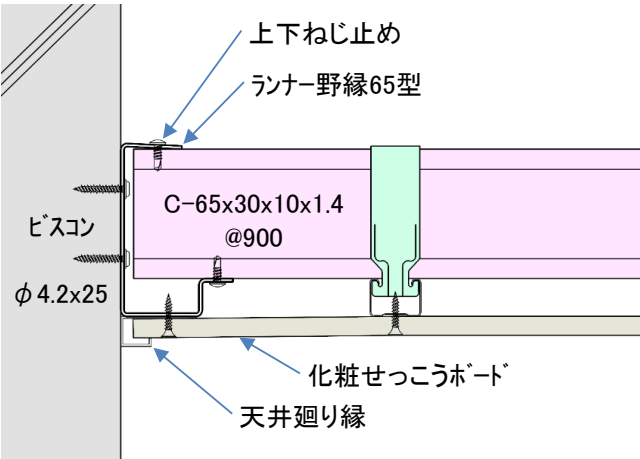
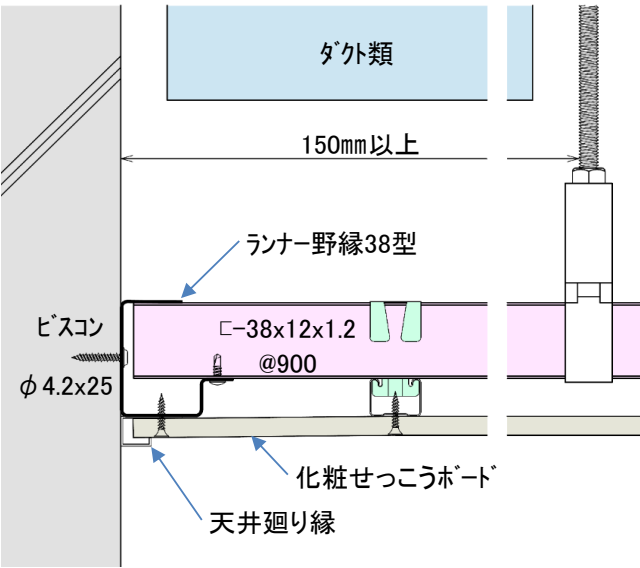
開口寸法 W400mm以下



取り付け方法

1. 開口墨に合わせMC-125Rの上下ストッパーを野縁受けに挟み込む。
2. MC-125Rの両端部をねじで止め付け、野縁受けを切断して完了。



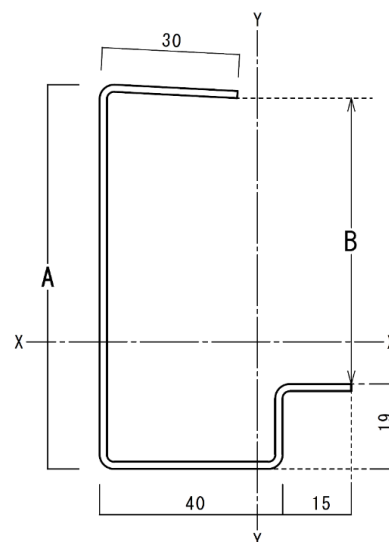
商品名	ランナー野縁[C-38～C-50用]	商品名	ランナー野縁[C-65～C-100用]
	t0.8mm  ※受注生産品 材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 定尺3m		t0.8mm t1.6mm  ※受注生産品 材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 定尺3m
特 長 ・障害物で野縁受けを吊れない場合やフコロが狭い場合に使用 ・壁際を強固に固定できるので地震時の天井壁際破壊を防止 ・施工が簡単なので工期短縮			
取り付け方法 ■吊元が取れない場合 (ランナー野縁65型使用の場合) ※野縁受けの板厚は天井の幅、重さを検討して決定する。 1.ランナー野縁を天井墨に合わせねじ止めする。 2.野縁受けをランナー野縁に差し込みドリルねじ4x16で止め付ける。 3.野縁をクリップで取り付け。 4.ランナー野縁に廻り縁を取り付ける。 5.せっこうボードをねじで取り付け。 ■吊りボルトがダケ外等の障害物で、壁際より150mm以上離れる場合 (ランナー野縁38型使用) 1.ランナー野縁を天井墨に合わせねじ止めする。 2.ハンガーに野縁受けを入れ端部はランナー野縁に差し込みドリルねじ4x13で止め付ける。 3.野縁をクリップで取り付け。 4.ランナー野縁に廻り縁を取り付ける。 5.せっこうボードをねじで取り付け。			
			
			

【ランナー野縁形状・寸法詳細】

【形状・寸法】

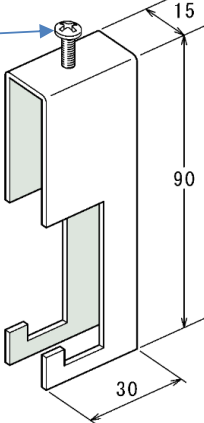
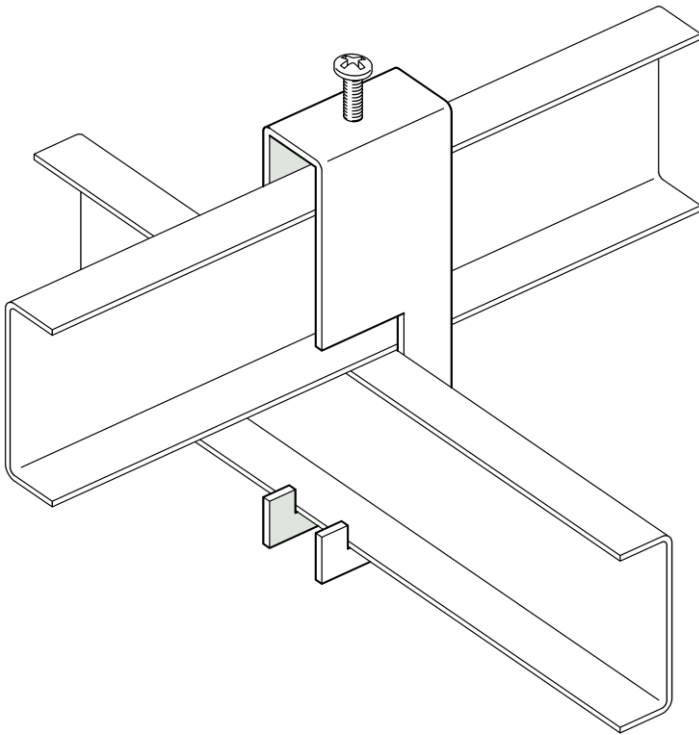
商品名	板厚	寸法		定尺
		A	B	
ランナー野縁 100型	1.6	121	99	3000
ランナー野縁 90型	1.6	111	89	
ランナー野縁 75型	1.6	96	74	
ランナー野縁 65型	1.6	86	64	
ランナー野縁 100型	0.8	121	98	
ランナー野縁 90型	0.8	111	88	
ランナー野縁 75型	0.8	96	73	
ランナー野縁 65型	0.8	86	63	
ランナー野縁 50型	0.8	70	48	
ランナー野縁 45型	0.8	65	43	
ランナー野縁 40型	0.8	60	38	
ランナー野縁 38型	0.8	58	36	

単位:mm

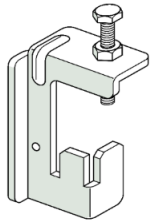


【断面性能表】

商品名	単位重量 (kg/m)	断面積 (cm ²)	断面二次モーメント		断面係数		断面二次半径	
			I _x (cm ⁴)	I _y (cm ⁴)	Z _x (cm ³)	Z _y (cm ³)	i _x (cm)	i _y (cm)
ランナー野縁 100型(t1.6)	2.741	3.49	69.04	8.70	9.92	2.11	4.45	1.58
ランナー野縁 90型(t1.6)	2.615	3.33	55.89	8.48	8.72	2.08	4.10	1.60
ランナー野縁 75型(t1.6)	2.427	3.09	39.22	8.12	7.05	2.04	3.56	1.62
ランナー野縁 65型(t1.6)	2.301	2.93	30.02	7.84	6.01	2.01	3.20	1.64
ランナー野縁 100型(t0.8)	1.385	1.76	34.87	4.63	5.03	1.10	4.45	1.62
ランナー野縁 90型(t0.8)	1.323	1.68	28.22	4.52	4.42	1.09	4.09	1.64
ランナー野縁 75型(t0.8)	1.228	1.56	19.80	4.32	3.58	1.07	3.56	1.66
ランナー野縁 65型(t0.8)	1.166	1.48	15.16	4.17	3.05	1.05	3.20	1.68
ランナー野縁 50型(t0.8)	1.071	1.36	9.53	3.92	2.33	1.02	2.64	1.69
ランナー野縁 45型(t0.8)	1.040	1.32	8.00	3.82	2.11	1.00	2.46	1.70
ランナー野縁 40型(t0.8)	1.009	1.28	6.62	3.72	1.89	0.99	2.27	1.70
ランナー野縁 38型(t0.8)	0.996	1.27	6.11	3.68	1.81	0.98	2.20	1.70

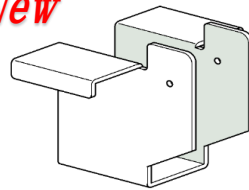
商品名	CクロスA	用途	C-38チャンネル直交金具
なべねじ 4x15 		特 長 ・野縁受けと野縁受けを交差固定	
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板 等
		板 厚	1.6mm
		ケース	150個入/8.0kg
施工例 			

ハリンタピースロック…p.28～29

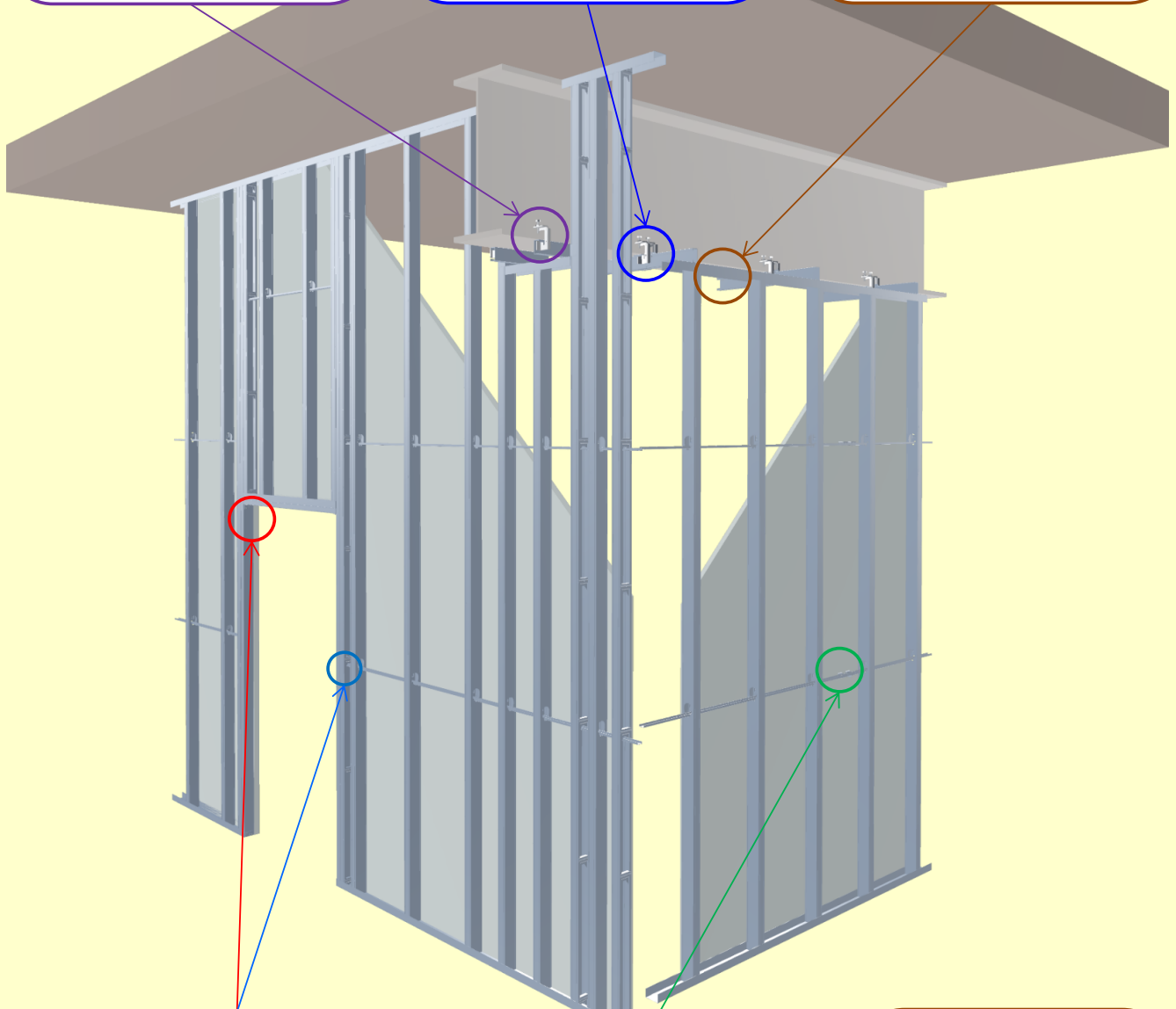
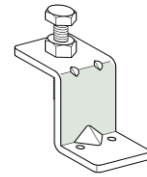


ハネダシサポート…p.32～35

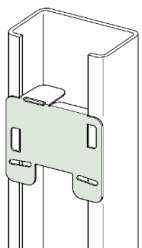
New



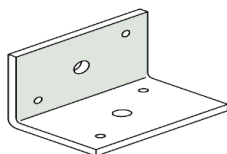
ハリンタピースロックZ…p.30～31



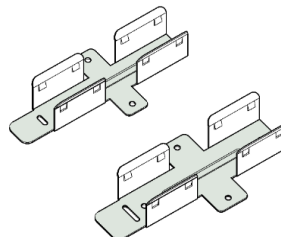
MWクリップスペーサ65…p.40
(補強材+スタート)



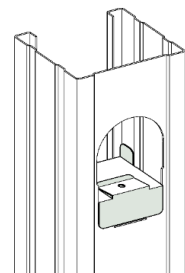
アングルピース…p.41

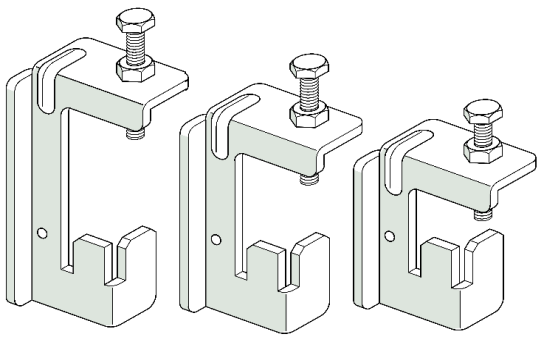


MWジョイント…p.38



MWエンドロック38…p.39

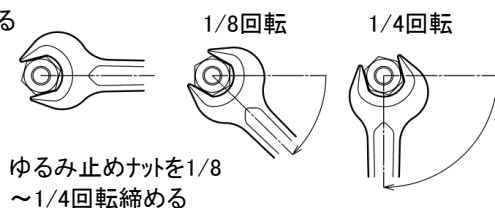
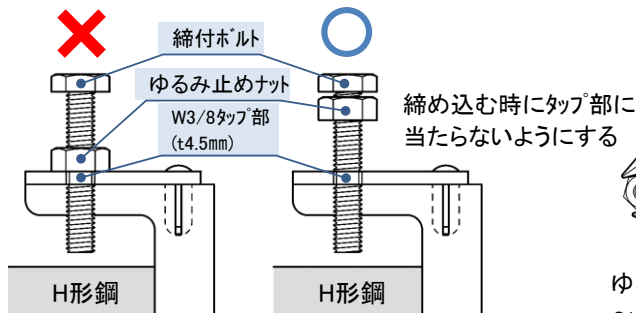
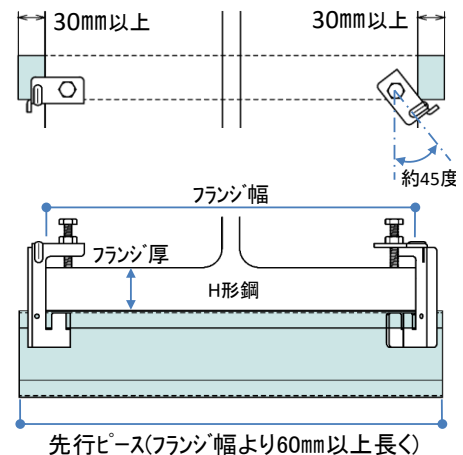


商品名	ハリシピアースロック	用途	鉄骨梁下用先付金物
H形鋼にC形鋼(先行ピース)を直交・平行方向に固定  締付ボルト W3/8 55mm (20型は50mm) 締付目安 1回転～1.5回転 (相当締付トルク 7～9N・m)		特 長 ・C-60～C-100までの形鋼に適用 ・適用フランジ厚 20型 20mm以下 40型 20～40mmまで 60型 40～60mmまで ・ダブルナット方式による緩み止め機能付き	
		材 質	電気亜鉛メッキ
		板 厚	4.5mm
		ケース	ハリシピアースロック20 50個入/12.2kg ハリシピアースロック40 50個入/12.9kg ハリシピアースロック60 50個入/14.2kg

☆ウイカ対策処理可能です。(詳しくはお問い合わせください)

取り付け方法

1. 先行ピースをH形鋼にあてがい、右図のように金具を取り付けて、締付ボルトの先端が鉄骨フランジに当たるまで軽く仮締めする。(先行ピースはフランジから両端 30mm以上出すこと。)
2. その後本締めを行う。1回転以上、1.5回転以下の範囲でボルトを締め込む事によりカタログの表示強度まで到達する。
3. 所定の強度で締め込んだ後、ゆるみ止めナットを本体タップ部に当てるまで手で仮締めし、スパナ等で確実に締める。(1/8回転～1/4回転程度) 金具本体とナットの間に隙間が無い事を確認すること。



【強度試験結果】

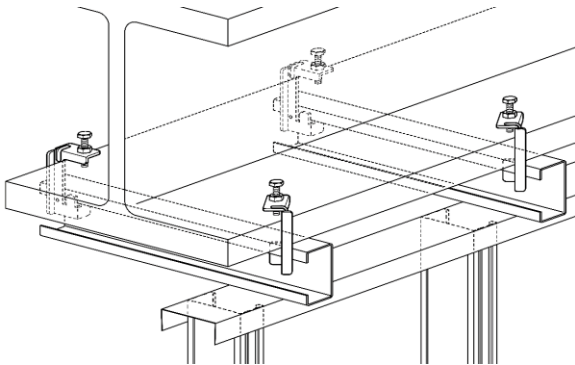
仕様	直交方向	平行方向	垂直方向
	損傷荷重 (最大荷重)	損傷荷重 (最大荷重)	損傷荷重 (最大荷重)
ハリシピアースロック20	1,495 N (2,171 N)	1,964 N (1,964 N)	2,291 N (4,430 N)
ハリシピアースロック40	1,310 N (2,621 N)	2,083 N (2,215 N)	2,297 N (4,591 N)
ハリシピアースロック60	1,295 N (2,097 N)	2,090 N (2,090 N)	2,137 N (4,544 N)

備考. 直交、並行方向は2個1組での強度。垂直方向は1個の強度。試験はC100x50x20x2.3を使用。

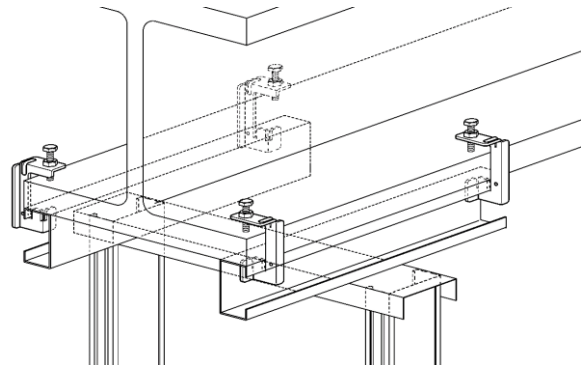
施工例

施工の際には取り付け方法、施工上の注意事項を厳守してご使用ください。
(強度データは施工例に基づき試験した数値です。それ以外の施工についてはお問い合わせください。)

■H形鋼と先行ピースが直交する場合

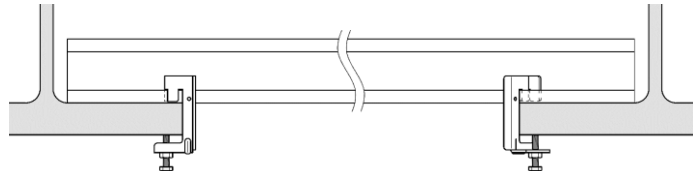


■H形鋼と先行ピースが平行する場合



■H形鋼のフランジ上にC形鋼を取り付ける場合

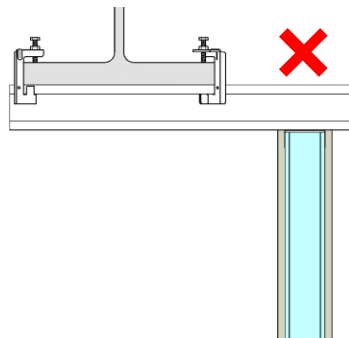
※1片持ち梁の固定には使用出来ません
※2大規模な天井、耐震性能が求められる天井には使用出来ません



⚠ 以下の施工には基本的に使用不可です!

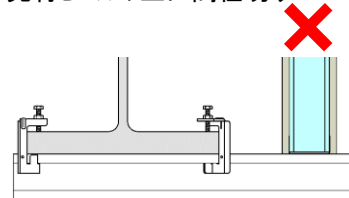
■H鋼フランジからのはね出し

「ハネダシサポート」をご使用ください

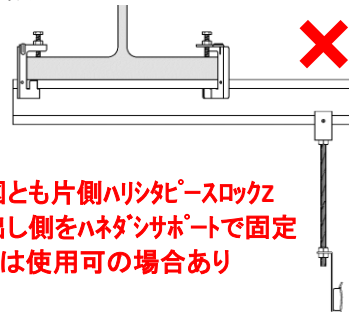


■重力が働く取り付け方

先行ピースの上に間仕切り

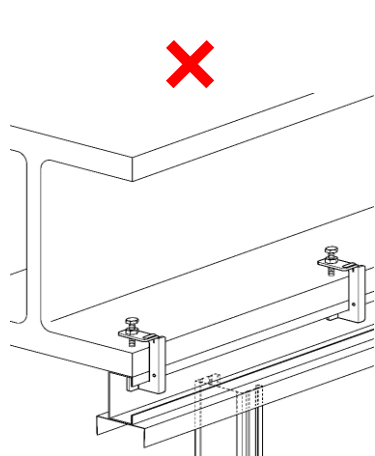


先行ピースの下(片側)に吊元を設ける



上下図とも片側ハジシピースロック
はね出し側をハネダシサポートで固定した時は使用可の場合あり

■先行ピースとランナーが同一方向の取り付け

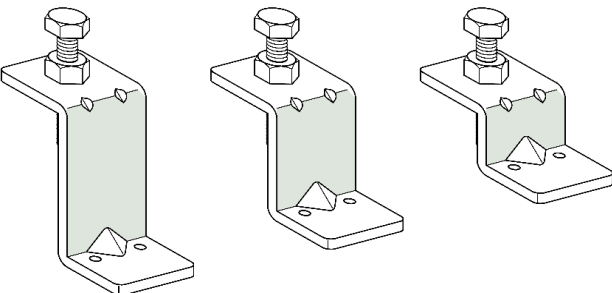


⚠ 施工上の注意事項

1. 先行ピースを取り付けるH形鋼との接触面や金具の締め付け部を取り付けるフランジ周辺に凹凸やごみがない事を確認してください。(金具・先行ピースの傾きや取り付け強度不足の原因になります。)
2. 金具とH形鋼の間に隙間が出来ないように取り付けてください。
3. 締め付け過ぎには十分に注意してください。締め付け過ぎるとボルト及び本体に変形が生じます。変形すると十分な性能が発揮出来ませんので万が一締め付け過ぎた場合はお取り替えください。
4. 締め付けを確認する場合は、必ずゆるみ止めナットを締め付ける前に行ってください。



動画用QRコード

商品名	ハリシタピースロック Z	用途	鉄骨梁下用先付金物
H形鋼にC形鋼(先行ピース)を直交方向に強固に固定 		特 長 ・C-60～C-100までの形鋼(t2.3)に適用 ・適用フランジ厚 20型 20mm以下 40型 20～40mmまで 60型 40～60mmまで ・ダブルナット方式による緩み止め機能付き	
		材 質 電気亜鉛メッキ	
		板 厚 4.5mm	
締付ボルト W3/8 50mm 締付目安 1回転～1.5回転 (相当締付トルク 4～6N・m)		ケース ハリシタピースロック Z20 50個入/6.7kg ハリシタピースロック Z40 50個入/7.9kg ハリシタピースロック Z60 50個入/9.2kg	
ドリルねじ 5x19 使用 意匠登録第1546141号			

☆ウィスカ対策処理可能です。(詳しくはお問い合わせください)

取り付け方法

施工の際には取り付け方法、施工上の注意事項を厳守してご使用ください。
(強度データは施工例に基づき試験した数値です。それ以外の施工についてはお問い合わせください。)

- 1. 先行ピースの切断** 先行ピースは、H形鋼のフランジ幅より両端 30mm以上長く切断してください。
(t2.3mm以上を使用してください。)
- 2. 金具の取り付け**
 - ① 先行ピースの端部に**ハリシタピースロックZ**をリップ側から見て右側にねじで止め付けてください。(作業しやすい場所で取り付けてください。)
 - ② 取り付け側をH形鋼のフランジに引っ掛けてボルトを仮締めし、反対側に**ハリシタピースロック**を下図のように取り付けます。(p.28～29参照)
- 3. ボルト、ナットの固定** 仮締めしたボルトを本締め(1回転以上、1.5回転以下)して、ゆるみ止めナットを締め付け、最後に**ハリシタピースロック**のねじ孔からC形鋼のリップに止め付けて完成です。

ハリシタピースロック

リップ正面から見て
左側に取り付ける



取付け向きに注意！

構造上、下図の向きでしか取り付け出来ません！

ハリシタピースロックZ

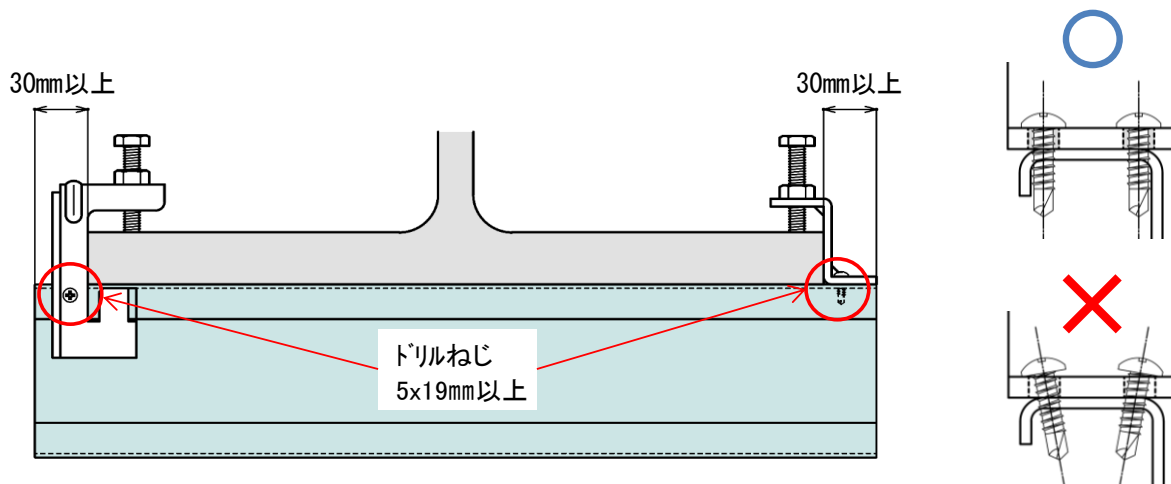
リップ正面から見て
右側に取り付ける

ドリルねじ 5x19 使用

先行ピース
t2.3mm以上

⚠ 極端な斜め打ちは厳禁！

ねじ頭が飛ぶ原因になりますのでご注意ください！



【強度試験結果】

仕様	直交方向		許容耐力	垂直方向	
	損傷荷重	(最大荷重)		損傷荷重	(最大荷重)
ハリンビースロック Z20	3,773 N	(8,756 N)	2,515 N	7,315 N	(10,862 N)
ハリンビースロック Z40	3,461 N	(8,632 N)	2,308 N	6,533 N	(9,482 N)
ハリンビースロック Z60	3,012 N	(9,301 N)	2,008 N	6,975 N	(8,588 N)

備考1. 直交方向は片側にハリンビースロックを使用した1組としての強度。垂直方向は試験体の関係上、2個1組での強度。(1個の場合は上表の1/2の値)

備考2. 許容耐力は損傷荷重を1.5で除したものの。

⚠ 施工上の注意事項

1. 先行ピースを取り付けるH形鋼との接触面や金具の締めボルトを取り付けるフランジ周辺に凹凸やごみが無い事を確認してください。(金具・先行ピースの傾きや取り付け強度不足の原因になります。)
2. 金具とH形鋼の間に隙間が出来ないように取り付けてください。
3. 締め付け過ぎには十分に注意してください。締め付け過ぎるとボルト及び本体に変形が生じます。変形すると十分な性能が発揮出来ませんので万が一締め付け過ぎた場合はお取り替えください。
4. 締めトルクを確認する場合は、必ずゆるみ止めナットを締め付ける前に行ってください。
5. ハリンビースロックの取り付け詳細については、p. 28~29をご覧ください。



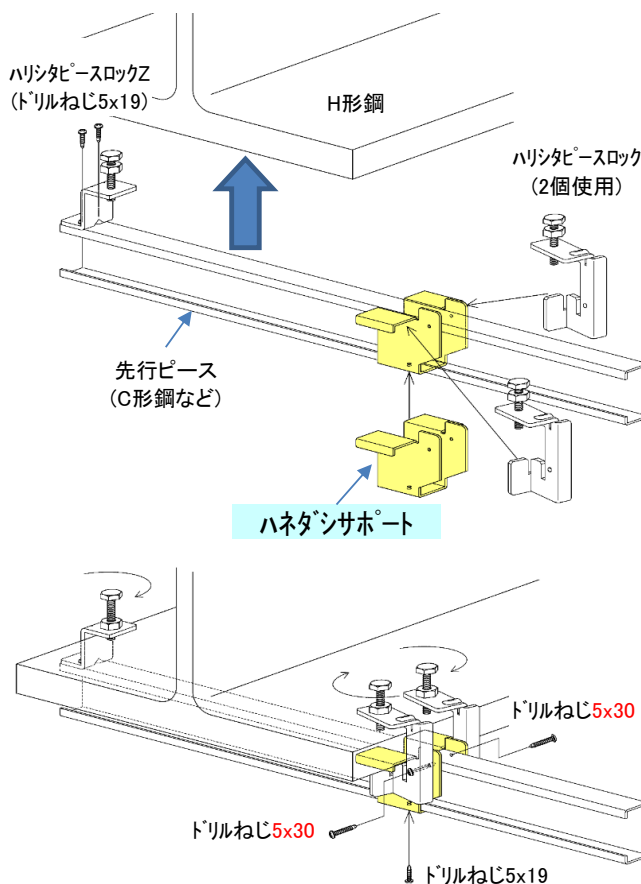
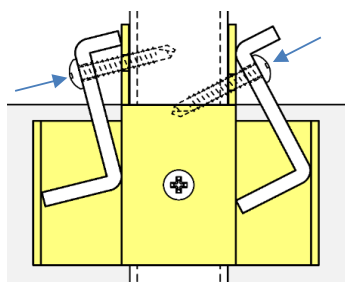
動画用QRコード

商品名	ハネダシサポート	用途	鉄骨梁下用先付金物
65x30用	100x50用	特長	・H形鋼のフランジから先行ピースをはね出して固定出来る※ ・壁際等でH形鋼の両端で先行ピースを固定出来ない場合にも使用可能 ※設置する壁下地の重量や先行ピースのサイズ等、条件によりはね出し可能長さは変わります
75x45用		材質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板厚	2.3mm
		ケース	65用 50個入/12.9kg 75用 40個入/11.4kg 100用 30個入/10.0kg
	※その他サイズ受注生産可能 特許第7433141号		

取り付け方法

施工の際には取り付け方法、施工上の注意事項を厳守してご使用ください。

1. 先行ピースの端部にハリタビースロックZをねじで止め付けます。(5x19以上)
2. 取り付け側をH形鋼のフランジに引っ掛けてボルトを仮締めし、反対側にハネダシサポートを右図のようにハリタビースロック2個で取り付けます。(※H形鋼の両側フランジ部に隙間が無い事を確認してください。)
3. 仮締めしたボルトを本締め(1~1.5回転)して、ゆるみ止めナットを1/8~1/4回転締め付けます。
4. ハネダシサポート底面の孔からねじ止め(5x19以上)して先行ピースに固定します。
5. 最後にハリタビースロックのねじ孔からハネダシサポートのリード孔にドリルねじの先端を当てて先行ピースに固定します。(ドリルねじ5x30以上を使用)



⚠ 施工上の注意事項

1. 先行ピースを取り付けるH形鋼との接触面や金具の締めボルトを取り付けるフランジ周辺に凹凸やごみが無い事を確認してください。(金具・先行ピースの傾きや取り付け強度不足の原因になります。)
2. 金具とH形鋼の間に隙間が出来ないように取り付けてください。
3. 締め付け過ぎには十分に注意してください。締め付け過ぎるとボルト及び本体に変形が生じます。変形すると十分な性能が発揮出来ませんので万が一締め付け過ぎた場合はお取り替えください。
4. 締め付けを確認する場合は、必ずゆるみ止めナットを締め付ける前に行ってください。
5. ハリタビースロックの取り付け詳細についてはp. 28~29を、ハリタビースロックZの取り付け詳細についてはp. 30~31をご覧ください。
6. はね出す方向は必ずハネダシサポート側にしてください。
7. ハネダシサポートに使用する先行ピースは必ずt2.3以上をご使用ください。
8. はね出しは片側に限ります。



動画用QRコード

【強度試験結果】

耐力評価は、国交省告示771号「建築物における天井脱落対策に係る技術基準の解説」より部材接合部の耐力・剛性の設定方法に準拠して試験した数値で参考値です。

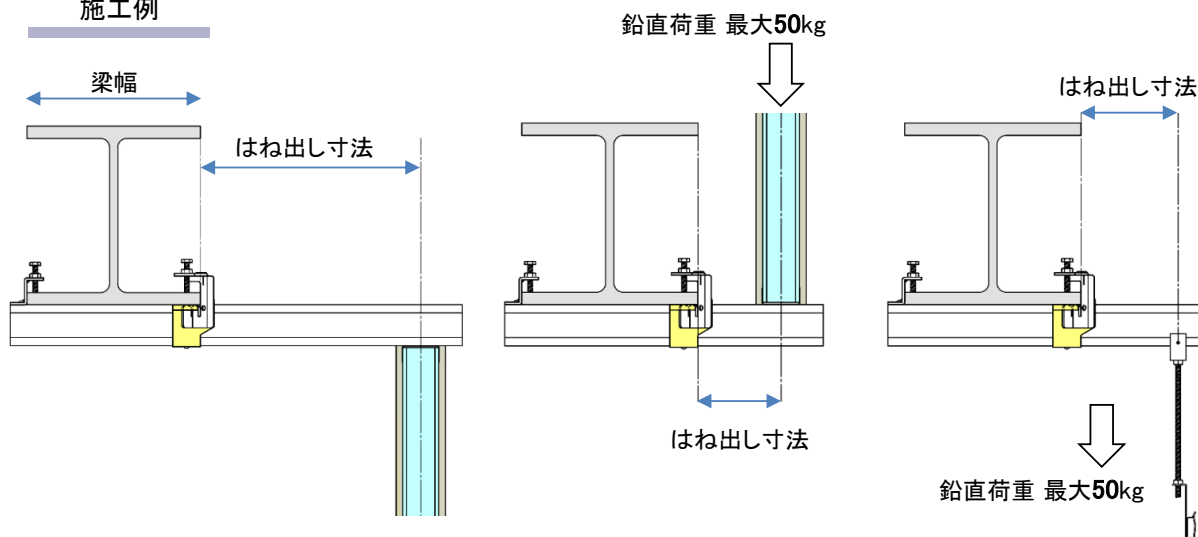
型式	仕様	面外方向許容荷重(F)	面内方向許容荷重(Fa) ハジビ°-スロツクZ側	面内方向許容荷重(Fb) ハネダシサポート側
65用	20仕様	3,066 N (9,460 N)	1,075 N (2,742 N)	2,150 N (5,484 N)
	40仕様	3,084 N (9,068 N)	1,136 N (2,906 N)	2,272 N (5,812 N)
	60仕様	3,042 N (10,055 N)	933 N (2,706 N)	1,866 N (5,412 N)
75用	20仕様	3,178 N (10,299 N)	1,105 N (2,530 N)	2,210 N (5,060 N)
	40仕様	3,122 N (10,100 N)	1,203 N (3,371 N)	2,406 N (6,742 N)
	60仕様	3,059 N (9,921 N)	972 N (2,875 N)	1,944 N (5,750 N)
100用	20仕様	3,232 N (11,060 N)	958 N (2,398 N)	1,916 N (4,796 N)
	40仕様	2,736 N (10,234 N)	782 N (2,319 N)	1,564 N (4,638 N)
	60仕様	2,806 N (10,565 N)	783 N (2,387 N)	1,566 N (4,774 N)

備考1. ()内は最大荷重

備考2. 仕様はH形鋼のフランジ厚によってハジビ°-スロツク×2個、ハジビ°-スロツクZ×1個を一組としたもの。
20仕様は20タイプ、40仕様は40タイプ、60仕様は60タイプをそれぞれ使用する。

備考3. 上記表内の数値は他社製品との併用には適用されない。

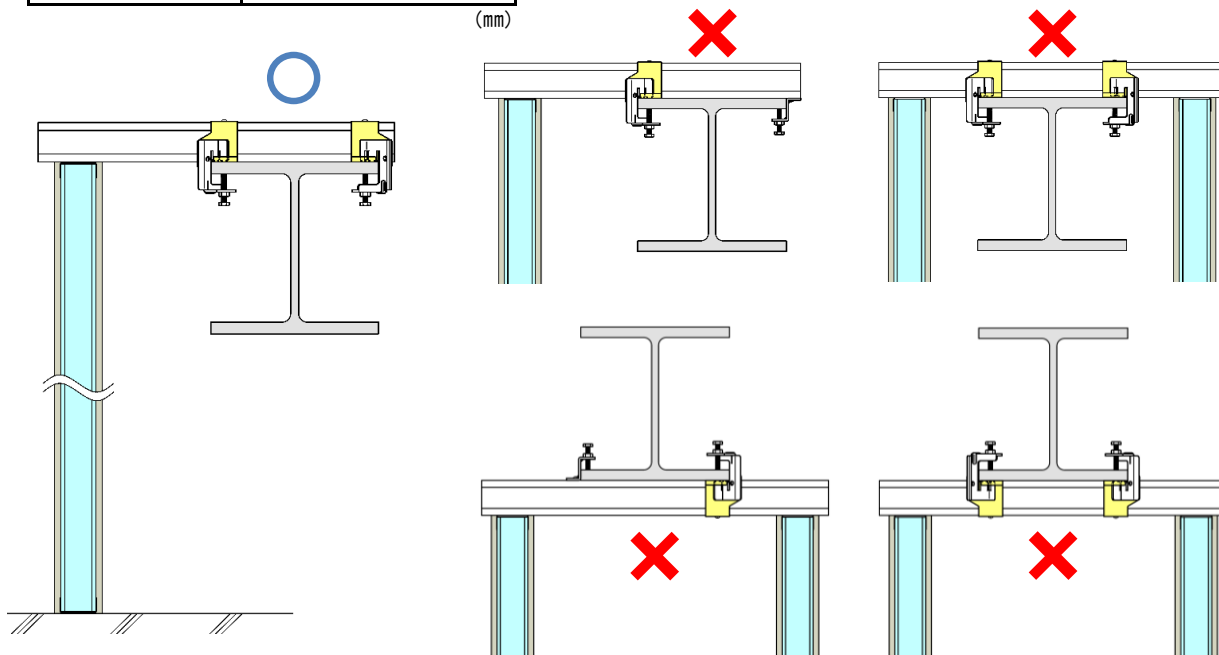
施工例



梁幅	はね出し寸法
100～200未満	400まで
200以上	800まで

(mm)

※はね出し寸法はH形鋼フランジから壁芯又は吊元芯までとする



【使用条件】

・基本条件

- ① 鉛直荷重は全ての合計で50kg以内
 ② はね出し寸法は 梁幅100以上200未満で400以内
 梁幅200以上で800以内

・許容値FおよびFa・Fbにたいして以下③～⑤の条件を全て満足する

- ③ $F \geq P$ はね出し寸法・梁幅によらない
 ④ $Fa \geq Pa$ はね出し寸法・梁幅・スタッド間隔により変化
 ⑤ $Fb \geq Pb$ はね出し寸法・梁幅・スタッド間隔により変化

※ ビース材端部に面外方向に働く力＝水平地震力・ガス圧力など

$$P = K \cdot W \cdot H/2 \cdot @ \quad \text{水平地震力}$$

$$P = Wg \cdot H/2 \cdot @ \quad \text{ガス圧力}$$

※ ビース材端部に面内方向に働く力（摩擦抵抗）をpとすると

$$Pa = \frac{l_2}{l_1} \cdot p \quad Pb = \frac{l_1 + l_2}{l_1} \cdot p$$

このとき

$$p = \frac{@}{ds} \cdot \mu$$

F：面外方向許容耐力

Fa：HPL-Z面内方向許容耐力

Fb：ハネダシポート+HPL面内方向許容耐力

P：ビース材端部に面外方向に働く力

p：ビース材端部に面内方向に働く力

Pa：HPL-Zに面内方向に働く力

Pb：ハネダシポート+HPLに面内方向に働く力

K：水平震度

W：壁面単位重量

Wg：ガス圧力

w：ビース材単位重量

H：壁高さ

@：ビース材間隔

l₁：梁幅

l₂：はね出し長さ

L：ビース材長さ(l₁+l₂)

ds：スタッド間隔

μ：スタッドとランナーに働く摩擦抵抗

両面2層張り 22.5kg

両面1層-片面2層張 20.0kg

両面1層張り 20.0kg

片面張り 15.0kg

ボートなし 5.0kg

【ハリシビースロック・はね出し先行ビースの固定金具（ハネダシポート）に関する検討】

1 基本条件

ユニット：ハリシビースロック20、ハリシビースロックZ20

梁幅	l_1	200	mm		ビース材	C75×45×15×2.3	3.28	kg/m		
はね出し寸法	l_2	450	mm	< 800	mm	OK	ビース材の間隔	900	mm	
懸垂（積載）荷重	$(40.53 \times 0.90 + 3.28)$				$\times 0.50$	$= 19.88$	kg	< 50	kg	OK
ハネダシポート	75	型	(余長含む)							

2 水平地震力に関する検討

設計用水平震度	指定震度	1	G	
壁仕様	下地	WS-100 JIS	1.38	kg/m
		@	455	mm
	ボート	強化石膏ボート	12.5	mm
		強化石膏ボート	12.5	mm
		強化石膏ボート	12.5	mm
		強化石膏ボート	12.5	mm
		強化石膏ボート	12.5	mm
壁面重量			40.53	kg/m ²

$$\text{水平地震力 } w = 40.53 \times 1 = 40.53 \text{ kg/m}^2$$

間仕切壁を単純梁とするとランナー取付部には支点反力に相当する力が働く

$$Va = Vb = \frac{wL}{2} = \frac{40.53 \times 4.80}{2} = 97.28 \text{ kg/m}$$

ビース材間隔は @ = 900 mm であるから固定部に掛かる力は

$$P1 = Vb \times 0.9 = 97.28 \times 0.90 = 87.55 \text{ kg}$$

ハネダシポート面外方向引張許容荷重 324.3 kg/組

$$\frac{\text{1組の負担過重 } P1}{\text{面外方向引張許容荷重}} = \frac{87.55}{324.3} = 0.27 < 1 \quad \text{OK}$$

3 側圧に関する検討

以下の側圧が加わるものとする

$$\text{側圧 } P = 150 \text{ kg/m} \quad h = 1500 \text{ mm}$$

間仕切壁を単純梁とするとランナー取付部には支点反力に相当する力が働く

$$\text{下部 } Va = \frac{F \times b}{H} = \frac{150 \times 3300}{4800} = 103.13 \text{ kg/m}$$

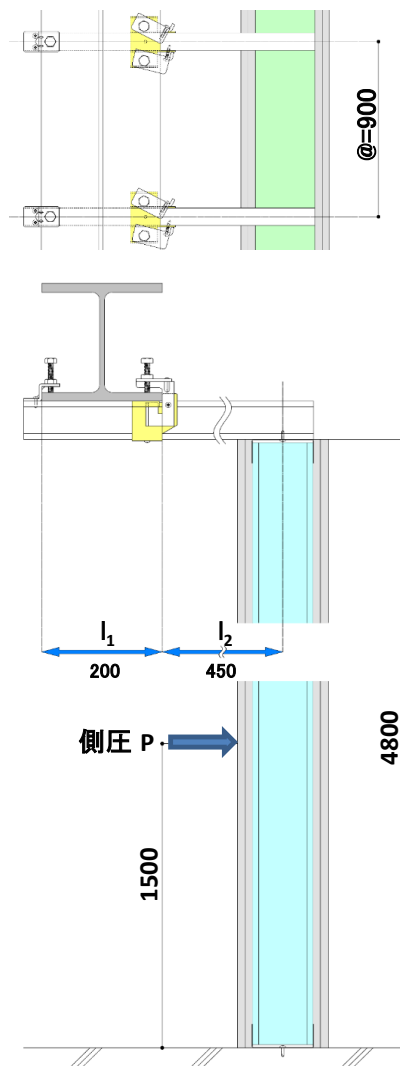
$$\text{上部 } Vb = \frac{F \times a}{H} = \frac{150 \times 1500}{4800} = 46.88 \text{ kg/m}$$

ビース材取付間隔は @ = 900 mm であるから固定部に掛かる力は

$$P2 = Vb \times 0.9 = 46.88 \times 0.90 = 42.19 \text{ kg/m}$$

ハネダシポート面外方向引張許容荷重 324.3 kg/組

$$\frac{\text{1組の負担過重 } P2}{\text{面外方向引張許容荷重}} = \frac{42.19}{324.3} = 0.13 < 1 \quad \text{OK}$$



4 はね出しとなるヒース材の検討

はね出しヒース C-75×45×15×2.3 @ 900 mmの強度検討

4-1 ヒース材の圧縮強度と面外方向外力（水平地震力及び側圧）との比較検討

断面性能

断面二次モーメント

$$I_x = 35.940 \text{ (cm}^4\text{)}$$

$$I_y = 11.48 \text{ (cm}^4\text{)}$$

断面係数

$$Z_x = 9.58 \text{ (cm}^3\text{)}$$

$$Z_y = 4.14 \text{ (cm}^3\text{)}$$

断面積

$$A = 3.92 \text{ (cm}^2\text{)}$$

断面二次半径

$$i_x = 3.028 \text{ (cm)}$$

$$i_y = 1.711 \text{ (cm)}$$

$$\lambda = \frac{L}{i_y} = 29.2 < 250 \rightarrow \text{OK}$$

単位重量

$$w = 3.28 \text{ (kg)}$$

短期許容曲げ応力度

$$F_b = 2100 \text{ (kg/cm}^2\text{)}$$

i 座屈荷重 Pk

オイラーの公式を用いて座屈荷重を求める

$$\begin{aligned} P_k &= \pi^2 \frac{EI}{l_k} \\ &= 3.14^2 \times \frac{2.1 \times 10^6 \times 11.480}{(2 \times 50)^2} \\ &= 23,769.5 \text{ (kg)} > 87.6 \rightarrow \text{OK} \end{aligned}$$

l_k : 座屈長さ : $n \cdot l_2$
 n : 座屈長さ係数 : 2
 一端固定 — 一端自由
 π : 円周率 : 3.14
 E : スチール弾性係数 : 2.1×10^6
 I : 断面二次モーメント : 11.480 cm⁴
 l_2 : 45 cm

ii 許容圧縮力 F

Max (P1, P2)

細長比—許容圧縮応力度 対応表より $\lambda = 29.2$ のとき長期許容圧縮応力度 f_c は

$$f_c = 9,809.7 \text{ kg/cm}^2 \text{ よって } \times 1.5 \rightarrow F_c = 14,715 \text{ kg/cm}^2 \text{ 短期許容圧縮応力度}$$

圧縮応力度

$$\sigma_c = \frac{\text{Max (P1, P2)}}{A} = \frac{87.6}{3.920} = 22.3 \text{ kg/cm}^2 < 14,715 \text{ kg/cm}^2 \rightarrow \text{OK}$$

4-2 面内方向に働くスタットとランナーの摩擦抵抗に対する比較検討

ランナーとスタットの摩擦力 ⇔ 両面2層張

$$22.5 \text{ kg/スタット} \cdot 1 \text{ 本片側}$$

ヒース材端部に働く力は

$$p = 22.5 \times 900 \div 455 = 44.51 \text{ kg}$$

i ヒース材の曲げに対する検討

$$M = p \cdot l_2 = 44.51 \times 45 = 2,002.75 \text{ kg} \cdot \text{cm}$$

$$\sigma = \frac{M}{Z_y} = \frac{2,002.75}{4.140} = 510.49 \text{ kg/cm}^2 < 2100 \text{ kg/cm}^2 \rightarrow \text{OK}$$

ii ヒース材の固定部に対する検討

$$V_a = \frac{F \times l_2}{l_1} = \frac{44.51 \times 450}{200} = 100.14 \text{ kg/m}$$

$$V_b = \frac{F \times L}{l_1} = \frac{44.51 \times 650}{200} = 144.64 \text{ kg/m}$$

a側 (ハリシヒースロックZ)

$$\text{ハリシヒースロックZ面内方向引張り許容荷重 } F_a = 112.76 \text{ kg}$$

b側 (ハネダシサポート)

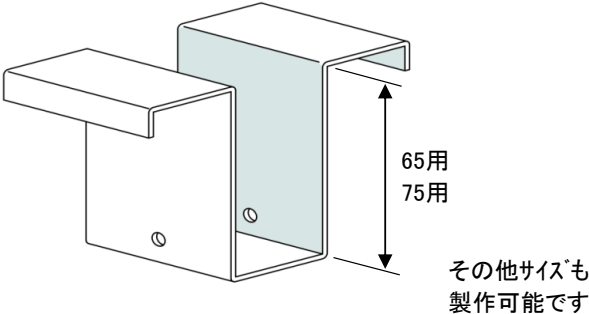
$$\text{ハネダシサポート+ハリシヒースロック面内方向引張り許容荷重 } F_b = 225.51 \text{ kg}$$

a側

$$\frac{\text{1組の負担荷重 } V_a}{F_a} = \frac{100.14}{112.76} = 0.89 < 1 \rightarrow \text{OK}$$

b側

$$\frac{\text{1組の負担荷重 } V_b}{F_b} = \frac{144.64}{225.51} = 0.64 < 1 \rightarrow \text{OK}$$

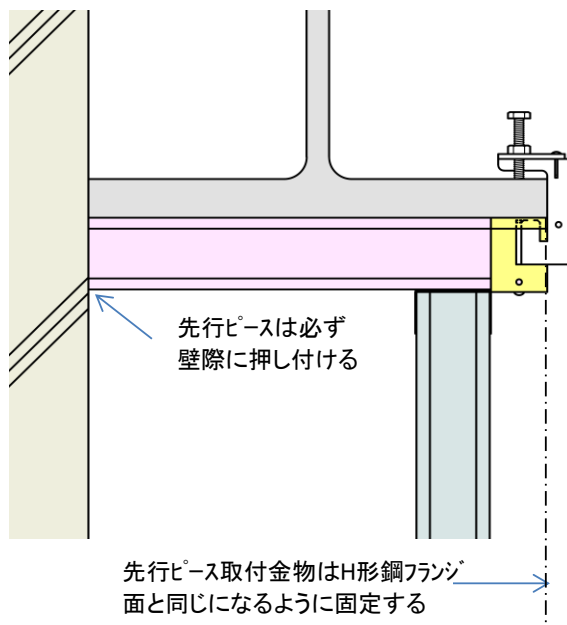
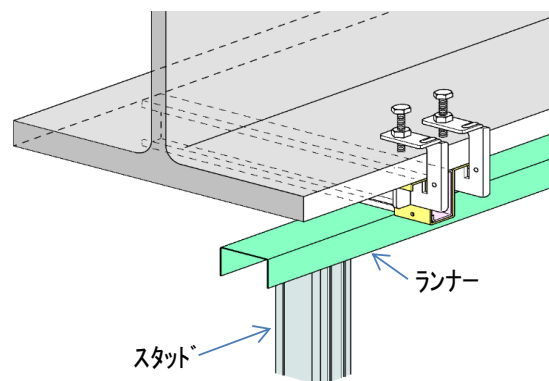
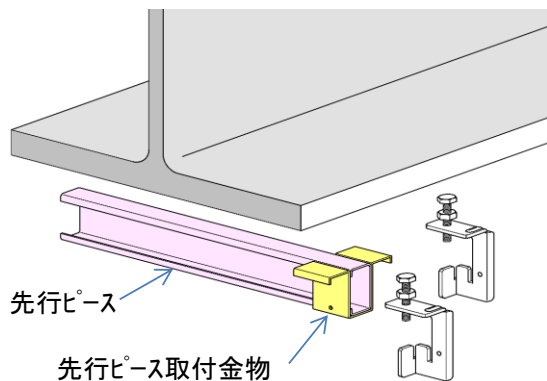
商品名	先行ピース取付金物	用途	鉄骨梁下用先付金物
壁際等でH形鋼フランジの両側で先行ピースを固定出来ない場合に!  65用 75用 その他サイズも 製作可能です	特 長	・H形鋼のフランジ片側に先行ピース（C形鋼など）を固定 注：はね出しは不可	
	強 度	面外方向損傷荷重（最大荷重） 20仕様 890N(1,448N) 40仕様 772N(2,601N) 60仕様 543N(2,078N)	
	材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板	
	板 厚	2.3mm	
	ケース	100個入/20.4kg(75用は80個入/18.6kg)	

備考1. 仕様はH形鋼のフランジ厚によってハシビロロックを2個一組としたもの。
20仕様はハシビロロック20、40仕様はハシビロロック40、60仕様はハシビロロック60をそれぞれ使用する。

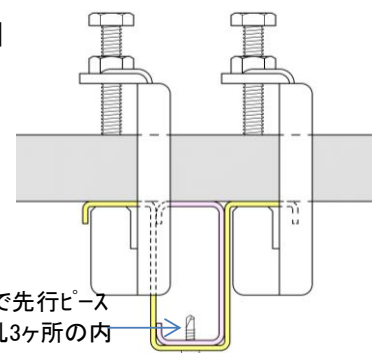
備考2. 強度はC-65x30x10x2.3を使用してそれぞれの仕様（ハシビロロックの種類）で試験した数値。
他社製の金具を使用した場合は適用されない。

施工例

施工の際には取り付け方法、施工上の注意事項を厳守してご使用ください。
（強度データは施工例に基づき試験した数値です。それ以外の施工についてはお問い合わせください。）

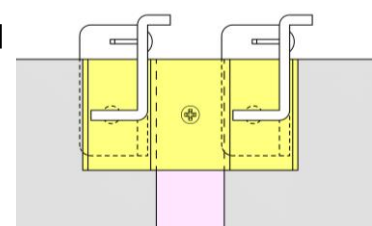


【正面図】



ドリルねじ(4×16)で先行ピースを固定する(ねじ孔3ヶ所の内いずれか1ヶ所を使用)

【見上図】



ハシテースロックは取り付け方によっては強度が変わりますので
適正な締め付けと正しい施工方法を守って安全にご使用ください。

1. 施工前の注意・確認事項

先行ピースを取り付けるH形鋼との接触面や金具の締付ボルトを取り付けるフランジ周辺に凹凸やごみが無い事を確認してください。(金具・先行ピースの傾きや取り付け強度不足の原因になります。)

2. 仮締め

先行ピースが梁に対して直角になるように手で金具のボルトを締め付けてください。その際、ゆるみ止めナットは出来るだけ上に移動してください。

3. 本締め

スパナ等の工具で**1回転以上、1.5回転以下の範囲**で本締めをしてください。本締めの際はゆるみ止めナットが本体に干渉しないよう確認してください。

4. 締付トルクの確認 (※任意)

本締め後、トルレンチを相当締付トルク(表1、表2参照)の最小値にセットしてトルクを確認してください。確認方法はセットしたトルクに達するまでボルトが動かなければOKです。使用するトルレンチのメーカーの取扱説明書及び注意事項を厳守して行ってください。

【表1. ハシテースロックの相当締付トルク及び強度】

	20タイプ		40タイプ		60タイプ	
	最大荷重	損傷荷重	最大荷重	損傷荷重	最大荷重	損傷荷重
面外方向引張試験	2,171N	1,495N	2,621N	1,310N	2,097N	1,295N
締付回転数	1回転以上、1.5回転以下					
相当締付トルク	7~9N・m					

【表2. ハシテースロックZ の相当締付トルク及び強度】

	20タイプ			40タイプ			60タイプ		
	最大荷重	損傷荷重	許容耐力	最大荷重	損傷荷重	許容耐力	最大荷重	損傷荷重	許容耐力
面外方向繰返し試験	8,756N	3,773N	2,515N	8,632N	3,461N	2,308N	9,301N	3,012N	2,008N
締付回転数	1回転以上、1.5回転以下								
相当締付トルク	4~6N・m								

※ 繰返し試験はハシテースロックとハシテースロックZの組み合わせで行っています。

【注意事項】

- ① 締付トルクを確認する場合は、必ずゆるみ止めナットを締め付ける前に行ってください。
- ② フレット型のトルレンチを使用する場合、設定したトルクに達すると「カチッ」という音とともに軽いショックが手に伝わり、締付完了が確認出来ます。再度「カチッ」とすると増し締めされて正しいトルクが確認出来ず、トルレンチの故障原因にもなりますので絶対に二度締めしないでください。
- ③ ゆるみ止めナットの締付回転数は締付ボルトの回転数に比例して大きくなります。締付ボルトの回転数が1回転ならゆるみ止めナットは1/8回転程度、1.5回転なら1/4回転程度になります。
- ④ 表1.の損傷荷重は、国交省告示771号の評価方法によるもの、又は1mmずれた時の荷重のうち最小のものです。
- ⑤ 表2.の損傷荷重及び許容耐力は、国交省告示771号「建築物における天井脱落対策に係る技術基準の解説」より部材接合部の耐力・剛性の設定方法に準拠した繰返し試験により確認した数値です。

5. ゆるみ止めナットの締め付け

最後にゆるみ止めナットを本体トップ部に当るまで手で仮締めし、スパナ等で確実に締めます。(1/8回転~1/4回転程度)。金具本体とナットの間に隙間が無い事を目視で確認してください。

6. その他

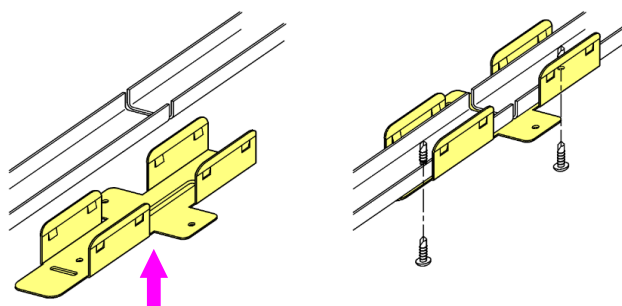
トルレンチは振動や衝撃に弱い精密な測定機器です。製造メーカーやタイプによって操作方法や管理方法、注意事項がありますのでご注意ください。

商品名	MWジョイント	用途	振れ止め固定金具
		特 長	・振れ止めを直列、端部及びT字、十字で固定
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	0.8mm
		ケース	19用 200個入/7.6kg 25用 150個入/7.4kg

施工例

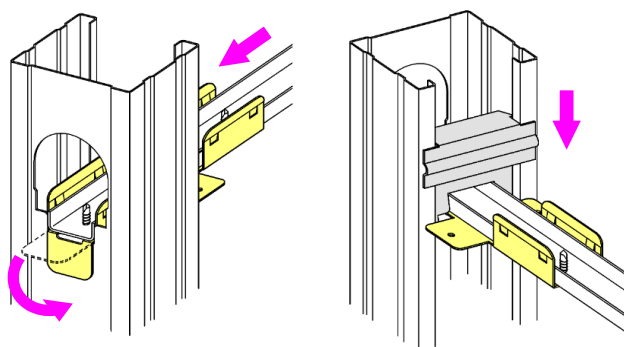
■直列の場合

1. 右図のように振れ止めの背中側から金具を取り付ける。
2. 金具の取付孔からねじで止め付ける。

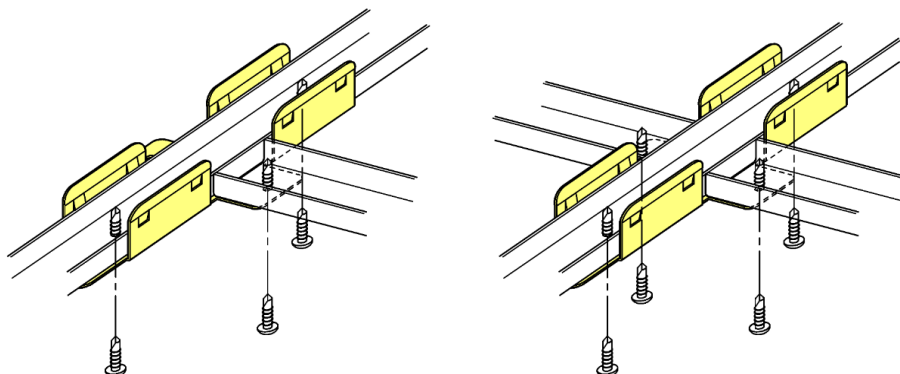


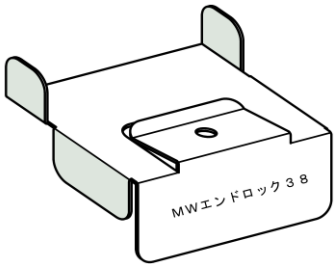
■端部の場合

1. 振れ止めの先端に金具をねじで止め付け、金具の折り曲げ部を曲げて固定する。
2. スペースを下げてロックする。



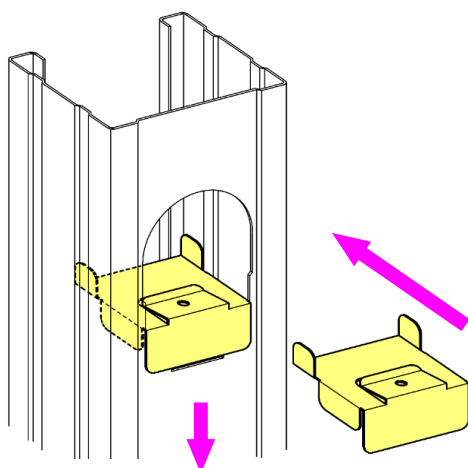
■T字・十字の場合



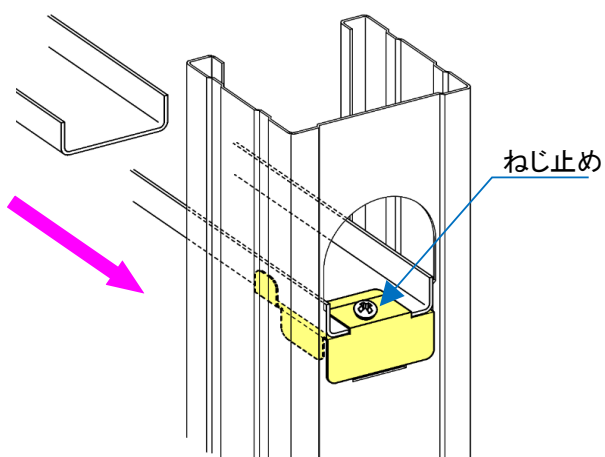
商品名	MWエンドロック38	用途	端部固定金具 (C-38用)
		特 長	・C-38x12の振れ止め端部固定
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	0.5mm
		ケース	900個入/7.6kg

取り付け方法

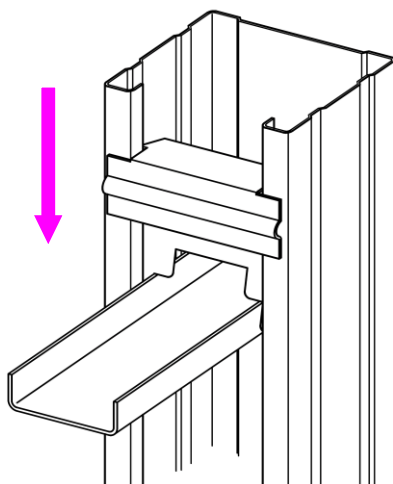
1. スタッドの振れ止め孔にMWエンドロック38を差込み、下にスライドさせて固定する。



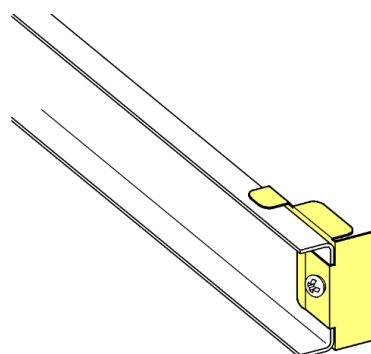
2. 振止め(C-38x12)の先端部をMWエンドロック38に差込み、ねじ孔から端部を止め付ける。



3. スパースーを下げて振止め(C-38x12)のフランジに固定して完了。



4. 先にMWエンドロック38を振止め(C-38x12)の先端部にねじ止めしてスタッドの振れ止め孔を通してても可。

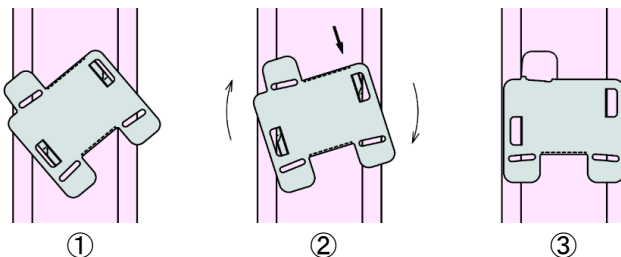


商品名	MWクリップスペーサ65	用途	ドア開口部固定金具
回転防止折曲片 固定片 (ランナー位置決め用)		特 長	・補強材とストッドを固定 ・補強材とランナーを固定 ・C-65の補強材(t1.6, t2.3)に適用 ・C-75の補強材にも適用可 ※ランナー75の内側固定は出来ません
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	0.8mm
		ケース	500個入/9.9kg

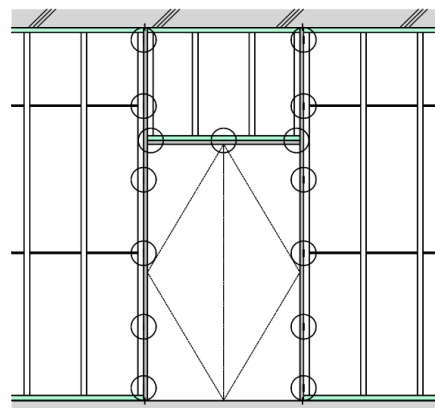
取り付け方法

■取り付け手順

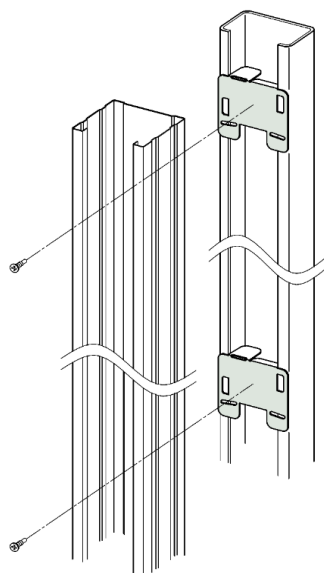
1. 補強材のリップ側から金具を下図のように押し付け、時計回転で回す。
2. 回す際には手を怪我しないよう、矢印の場所を金槌などでたたいて回転させる。
3. 金具が補強材と平行になったら回転防止折曲片を補強材の奥までしっかり折り曲げて固定する。



施工例

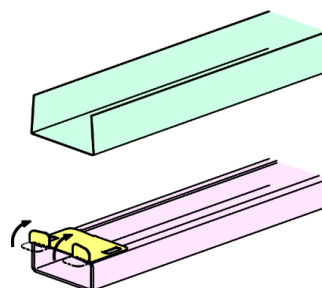


■補強材とストッドの固定



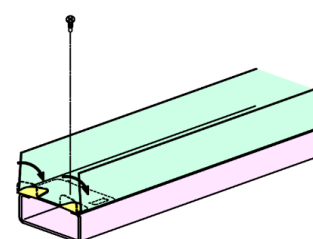
■補強材とランナーの固定

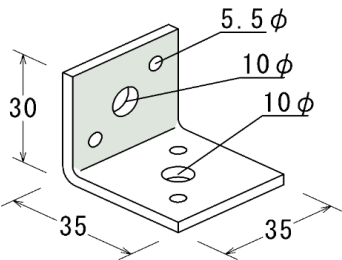
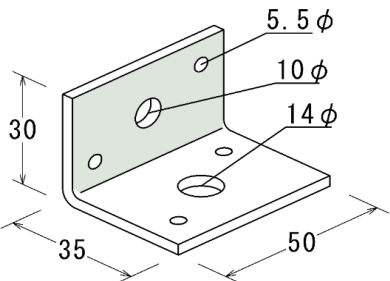
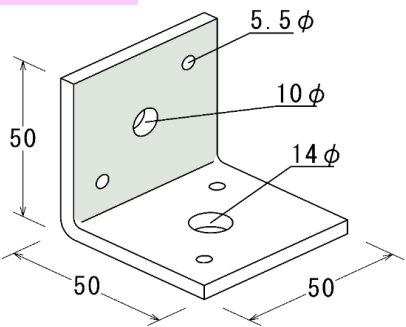
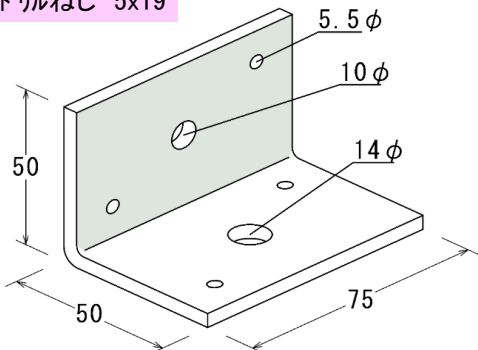
1. まぐさ補強材の両端部に金具を取り付け、固定片を90°折り曲げる。
(開口幅に応じて中間部にも取り付ける)

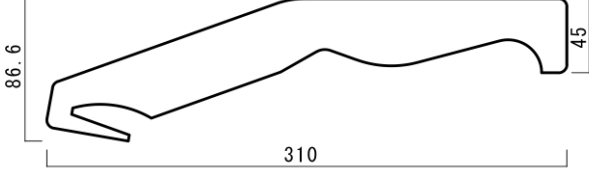


2. ランナー内側に固定片を折り曲げて固定し、ねじ止めして完了。

ドリルねじ 4x13

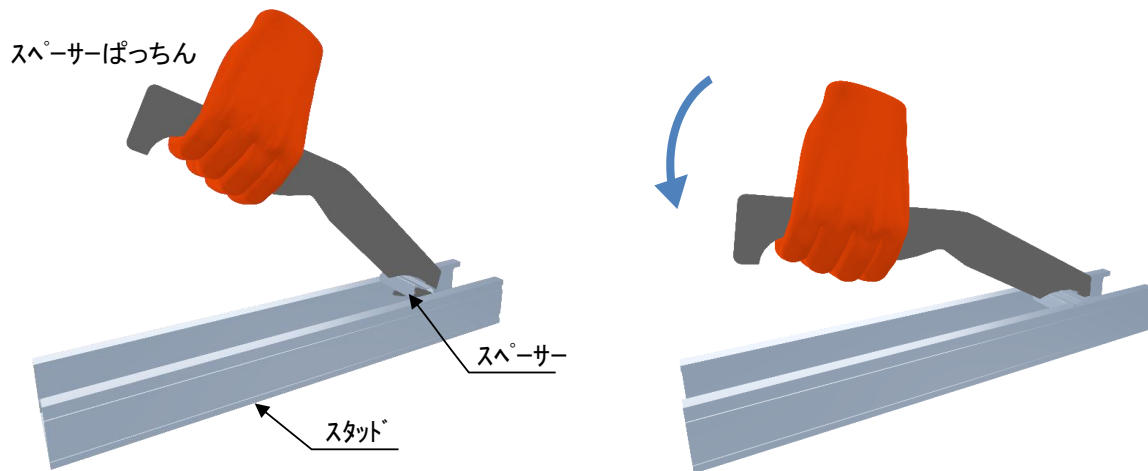


商品名	アングルピース 35x30x35x3.2	用途	補強材固定金具
推奨 ドリルねじ 5x16 		特 長 ・C-60以下の補強材を固定する金具 ※ 国土交通省・公共建築工事 標準仕様適合品	材 質 溶融亜鉛メッキ鋼板 板 厚 3.2mm ケース 250個入/12.0kg
商品名	アングルピース 35x30x50x3.2	用途	補強材固定金具
推奨 ドリルねじ 5x16 		特 長 ・C-65の補強材を固定する金具 ※ 国土交通省・公共建築工事 標準仕様適合品	材 質 溶融亜鉛メッキ鋼板 板 厚 3.2mm ケース 200個入/14.0kg
商品名	アングルピース 50x50x50x4.5	用途	補強材固定金具
推奨 ドリルねじ 5x19 		特 長 ・C-75以上の補強材を固定する金具 ※ 国土交通省・公共建築工事 標準仕様適合品	材 質 溶融亜鉛メッキ鋼板 板 厚 4.5mm ケース 100個入/15.1kg
商品名	アングルピース 50x50x75x4.5	用途	補強材固定金具
推奨 ドリルねじ 5x19 		特 長 ・C-90,C-100の補強材を固定する金具 ※ 国土交通省・公共建築工事 標準仕様適合品	材 質 溶融亜鉛メッキ鋼板 板 厚 4.5mm ケース 50個入/12.0kg

商品名	スペーサーぱっちゃん	用途	スペーサー取付工具
 ※受注生産品		特 長	・スペーサーをスタッドに楽に取り付けする工具 ・75型以下のスペーサー取り付けに適応
		材 質	溶融亜鉛メッキ鋼板
		板 厚	2.3mm
		重 量	0.2kg/本

使用方法

1. スタッドに規定の間隔でスペーサーをセットする。(台の上で作業するとより効率的)
2. 「スペーサーぱっちゃん」を下図のようにスペーサーに引っ掛け、倒しこむ。



⚠ 取扱い上の注意事項

1. 安全の為、ご使用時には必ず保護手袋を着用してください。
2. ご使用時、過度に力を入れるとスペーサーが破損したり、怪我をする恐れがあります。適度な力加減でご使用ください。
3. スペーサーの取り付け以外にはご使用しないでください。

商品名	遮煙用アングルピース	用途	溝形鋼等の小口塞ぎ

取り付け方法

1. 金具の取り付け

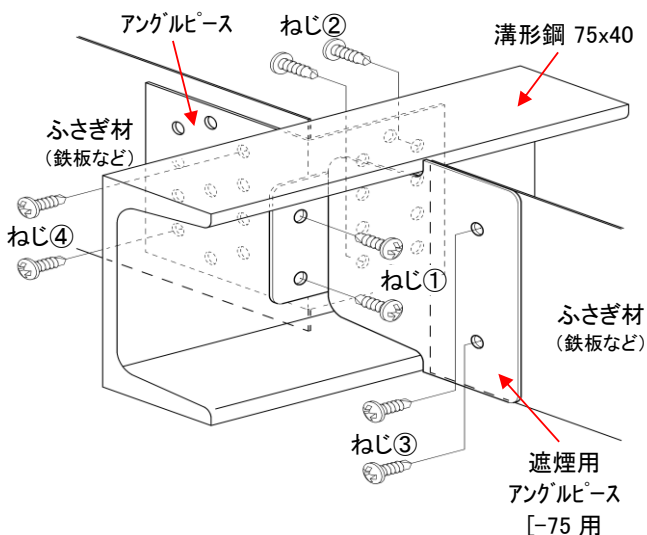
ランナーを取り付ける前に溝形鋼の内側に遮煙用アングルピースをねじ①で取り付け。取り付けの際、溝形鋼の下にはみ出さないよう注意する。

2. アングルピースの取り付け

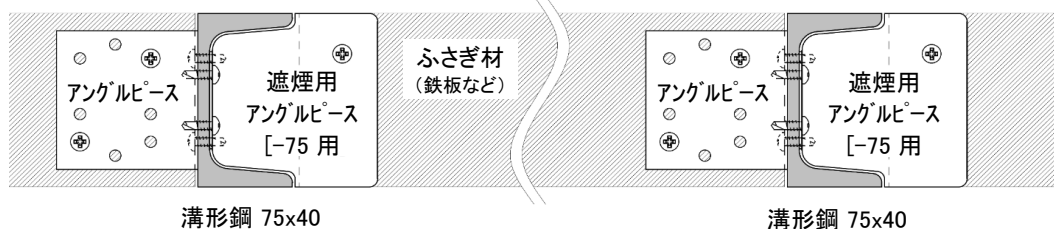
遮煙用アングルピースを取り付けた裏面（溝形鋼の背面）にアングルピースをねじ②で取り付ける。遮煙用アングルピース同様、溝形鋼の下にはみ出さないよう注意する。

3. ふさぎ材の取り付け

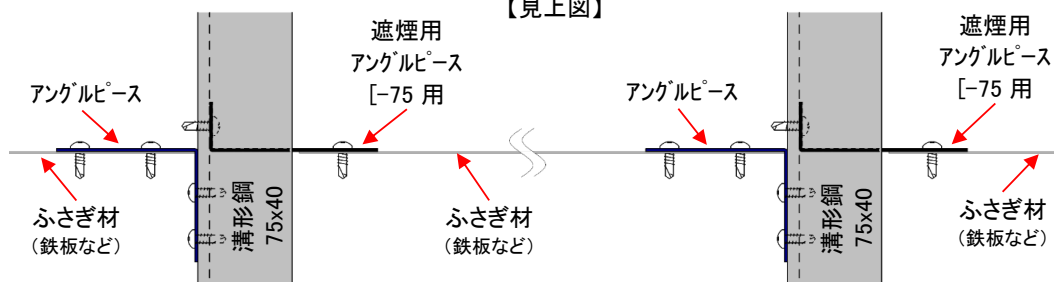
溝形鋼間のピッチを測定し、ふさぎ材（溶融亜鉛メッキ鋼板など）を用意して遮煙用アングルピースとアングルピース間にねじ③、④で連結する。



【正面図】



【見上図】



推奨ねじ一覧表

No.	商品名	板厚			推奨ねじ		
		製品	相手方	合計	種類	寸法	数量
1	MCプレス・ストロング	2.3	1.6～	3.9～	※ ドリルねじ	4 x 16	4
2	MCプレスⅡ	1.6	1.2～	2.8～	※ ドリルねじ	4 x 13～	2
3	MCクロス・ストロング	2.3	1.6～	3.9～	※ ドリルねじ	4 x 16	6
4	MCクロス	1.2	1.6～	2.8～	※ ドリルねじ	4 x 13～	2
5	MCクリップ(0.6)野縁側	0.6	0.5	1.1	※ ミニジャックポイント	4 x 13	1
6	MCクリップ(0.6)野縁受け側	0.6	1.2	1.8	※ ドリルねじ	4 x 13	1
7	MCクリップ(0.8)野縁側	0.8	0.5	1.3	※ ミニジャックポイント	4 x 13	1
8	MCクリップ(0.8)野縁受け側	0.8	1.6	2.4	※ ドリルねじ	4 x 13	1
9	MCクリップガード(野縁側)	1.6	0.5	2.1	※ ミニジャックポイント	4 x 13	2
10	MCクリップガード(野縁受け側)	1.6	1.2	2.8～	※ ドリルねじ	4 x 13～	1
11	BPホルダー	1.6	1.0	2.6	※ ドリルねじ	4 x 13	4
12	MC吊元ロック	1.6	1.6～	3.2～	※ ドリルねじ	4 x 16	2
13	チャンネルフリークリップ	0.8	1.6	2.4	※ ドリルねじ	4 x 13	2
14	MC38クロスロック	0.8	1.6	2.4	ドリルねじ	4 x 13	2
15	ランナー野縁38～50	0.8	1.6	2.4	ドリルねじ	4 x 13	必要量
16	ランナー野縁65～100	1.6	2.3	3.9	ドリルねじ	4 x 16	必要量
17	MC-125R	1.2	1.6	2.8	※ ドリルねじ	4 x 13	2
18	ハジタビスロック	4.5	2.3	6.8	※ ドリルねじ	5 x 19	1
19	ハジタビスロックZ	4.5	2.3	6.8	※ ドリルねじ	5 x 19	2
20	ハネタシサポート(底部)	2.3	2.3	4.6	※ ドリルねじ	5 x 19	1
21	ハネタシサポート(サイド)				※ ドリルねじ	5 x 30	2
22	先行ビス取付金物	2.3	2.3	4.6	※ ドリルねじ	4 x 16	1
23	MWジョイント19・25	0.8	1.2	2.0	ドリルねじ	4 x 13	2(4)
24	MWイントロック38	0.5	1.2	1.7	ドリルねじ	4 x 13	1
25	MWクリップスパー365	0.8	0.8	1.6	※ ドリルねじ	4 x 13	1
26	アングルピース 35、50	3.2	2.3	5.5	ドリルねじ	5 x 16	4
27	アングルピース 50、75	4.5	2.3	6.8	ドリルねじ	5 x 19	4
28	LG吊元ストロング	3.2	2.3	5.5	※ ドリルねじ	4 x 16	4

※印は強度試験に使用したねじの為厳守すること。

ねじの選定方法

- ねじの長さ = 板厚合計 + 10mm以上
(下地を貫通して余長10mm以上)

・ドリルねじ(なべ頭)
JISB1124: タピンねじのねじ山をもつドリルねじ

ミニジャックポイント
M-PJ413



ドリルねじ





事業所一覧

○本 社 〒102-0083 東京都千代田区麹町5丁目1番地 麹町弘済ビルディング5F

・内装工事業部	TEL 03-6261-9510 / FAX 03-6261-9512
・建材販売部	TEL 03-6261-9580 / FAX 03-6261-9581
・リニューアル部	TEL 03-6261-9585 / FAX 03-6261-9586
・労務安全部	TEL 03-6261-9510 / FAX 03-6261-9512
・技術部	TEL 03-6261-9960 / FAX 03-6261-9512
・総務部	TEL 03-6261-9950 / FAX 03-6261-9951
・経理部	TEL 03-6261-9950 / FAX 03-6261-9951
・人事部	TEL 03-6261-9950 / FAX 03-6261-9951

○大阪支店 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1丁目4-10 四ツ橋パークビル2F

・内装工事業部	TEL 06-6539-0220 / FAX 06-6539-5801
・内装工事業部(設計)	TEL 06-6539-0230 / FAX 06-6539-5801
・建材販売部	TEL 06-6539-0250 / FAX 06-6539-5800
・総務課	TEL 06-6539-0260 / FAX 06-6539-5801

○札幌支店 〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西3丁目10-1 小田ビル8F

・内装工事業部	TEL 011-624-7393 / FAX 011-624-7394
・建材販売部	TEL 011-624-7395 / FAX 011-624-7396
・総務課	TEL 011-624-6192 / FAX 011-624-6193